

津屋崎中学校校舍増築1期工事

建 物 名 称	構 造	階 数	延面積 (m2)	防火対象物 の 種 別	戸数・浄化槽入槽 受水槽有効容量等
中学校	S造	3階		7項	

4 本 工 事 設 備 概 要 (本工事該当箇所に○印を付ける)

5. 法令による区画（本工事該当箇所）に○印を付ける ※有の場合は、図示等による）

6. その他 (本工事該当箇所に○印をつける)

○通休2日従道工事	・入札時積算数量活用方式対象工事	・快道トイレ設置対象
・情報共有システム活用	・余裕期間制度対象	

※工事内容、留意事項等を必ず記載のこと。

Ⅱ. 工事仕様

1. 適用仕様等

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の仕様書による。

- (1) 「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編 令和7年版）」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
- (2) 「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編 令和7年版）」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
- (3) 「公共建築工事標準仕様書（建築工事編 令和7年版）」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
- (4) 「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編 令和7年版）」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
- (5) 「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編 令和7年版）」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
- (6) 「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編 令和7年版）」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
- (7) 「公共住宅建設工事標準仕様書（令和4年版）」 国土交通省住宅住宅政策整備課監修

年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。

ただし、決定内容で発注仕様の変更又は工事価格の変更が生じる場合は、担当者とは協議する。

項 目		特 記 事 項
1 一 般 事 項	① 発 生 材 の 処 理	※18建設副産物の処理についての項を適用すること。 ※7フロンの処理は、19フロンの処理についての項を適用のこと。
	② 残 土 処 分	※構外搬出 ・ 構内搬込み均し
	③ 官公署その他への 手続き	この工事に必要な官公署その他の関係機関への諸手続等は、これに必要な資機材・労務、 及び費用を請負者の負担にて運営かおこなふこと。その検査に合格すること。
	④ 機 能 試 験	工事の内容に応じて、機能試験を行うこと。
	⑤ 他工事との取合い	※施工区区分による ・ 図面詳細による
	⑥ 技 能 技 術 の 適 用	住宅においては20戸以上、住宅以外の建物については1,500m ² 以上の工事に適用する。 ①配管（建築配管作業） ・ 建築板金（タクト板金作業） ②熱処理施工（保温保冷工事作業） ・ 冷凍空調機器搬入（冷凍空調設備機器施工作業）
2 仮 設 工 事 項	7. あと施工アンカー	・ 冷凍空調機器搬入（冷凍空調設備機器施工作業）
	⑧ 施 工 図 の 作 成	※あ 施工アンカーの施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の有資格者に行うこと。 ※※ ・ 不要
2 仮 設 工 事	1. 監 査 員 事 務 所	・ 設けない ・ 設ける（ 10 m ² 程度） 備品については監督員の指示による。
	2. 工事用電力・水	この工事に必要な工事用電力（仮設及び仮連動設置費用を含む。）を、水（熱検検査、消火 用水及びブールの水取りを含む）及び諸手続などの費用は、すべて請負者の負担とする。
	3. 総合仮設計画書	・ 要する ・ 要しない
	4. 足場 ・ 構 台	・ 他工事 ・ 本工事（詳細図による。）
	5. 仮囲い等危険防止措置	・ 他工事 ・ 本工事（詳細図による。）
	6. 工事表示板等	監督員の指示による。
	7. 工事車両の出入り口	工事車両の出入り口では、一般通行人及び一般車両の安全確保に努めること。 交通誘導員 ・ 配置する（ 名 ）以上 ・ 配置しない

* 耐震安全性の分類 (・特定の施設) (○一般の施設)

(2) 地域係数 (Z)
地域係数 (Z) は、1.0 とする。

※鋼材・ボルトナットを屋外又は多湿箇所に使用する場合は、溶融亜鉛メッキ（2種35）又は、ステンレス鋼製（SUS304）とする。

* 耐震安全性の分類 (・特定の施設 ○一般の施設)

(2) 地域係数 (Z)
地域係数 (Z) は、1.0 とする。

※鋼材・ボルトナットを屋外又は多湿箇所に使用する場合、溶融亜鉛メッキ（2種35）又は、ステンレス鋼製（SUS304）とする。

(10) 地中埋設及びコンクリート内の防食
コンクリート内の防食は、防食用ビニルテープ巻（1/2重ね1回巻）とする。
地中埋設は、ペトロラタン系ペーストを塗布のうえ、ペトロラタン系防食テープ1/2重ね1回巻を巻く。

12. は つ り

※特記なき電線管は、薄鋼電線管又は同一外径のねじなし電線管とする。
※可とう電線管は、2種金属可とう電線管とする。

(16)	総合環境調整	調整項目は下記の通りとし、測定表を提出する。なお測定箇所は監督職員（係員）の指示による。 ・湿度 ・湿度 ○風量 ○水量 ・騒音 ・飲料水水質 ・雑用水水質
------	--------	---

② 大便器洗浄方式
③ 小便器
④ 小便器洗浄方式

・床置型 ○壁掛型
※専用洗浄弁式 ・洗浄弁式

7 鏡 普通 窓難防止形 耐食 ○窓難防止形耐食 身体障害者対応

8 水 栓 柱 70° □×1300 (※合成樹脂製・人研製・SUS製)

⑨ 器具配置	トイレブース内の紙巻器、リモコン類についてはJIS S0026に則った配置とすること。
--------	---

	防食管継手	
--	-------	--

⑥ ・排水用塩ビライニング鋼管 ・耐熱硬質塩化ビニル管 ・耐火硬質塩化ビニル管 (FS-VP) ・硬質塩化ポリサイクル管 (RF-VP) : ビット内

・硬質塩ビリサイクル管 (RF-VP) : ビット内

2. 管 接 合

・鋼 管 (・ねじ込み式 ・MD継手 ・)
 ・木口塩ビパイプ (・ねじ込み式 ・MD継手 ・)

設	⑤	床上掃除口直下の曲管	排水鋼鉄管系統の床上掃除口直下に取り付ける管は45°2回曲りとする。
	⑥	コンクリート構ふた	図面詳細による。

9. グリーストラップ 空気調和・衛生工学会規格SHASE-S 217（グリース阻集器）によるものとする。

⑩ 差込ソケット（VV） 排水流し下のビニル製排水管には差込（VV）ソケットを使用すること。

7) ・耐熱塩ヒライニング鋼管 ・銅管 ・保温付被覆銅管 ・被覆耐熱鋼管
・架橋ポリエチレン管またはポリブデン管（さや管工法） ⊙SUSフレキ
ロ）鋼管使用の場合はM管とし、雪害防止継手を取付ける。

4. 排気筒及び煙突 ガス湯沸器用排気筒は、JIS S 3025によるSUS304(厚さ0.3mm以上)とする。
・排気筒の断熱(※要(隠ぺいの箇所のみ) ・不要)

⑦	燃 料	・ ガス ・ 灯油 ○ 電気
⑧	1. 消火ポンプの基礎	・ 標準基礎 ・ 防振基礎

設 4. 保 温
備 ⑤ 管 類

・ 屋內消火管 (・要 ※不要) ・ 屋外露出消火管 (※要 ・ 不要)
○配管用炭素鋼鋼管 (STPG) (屋內) ○外面被覆鋼管 (・ STPG-VS ○SGP-PS)

2. 管	類	一般配管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩ビ外面被覆鋼管	・ ガス用ステンレス製フレキシブル管 ・ ポリエチレン被覆鋼管
------	---	------	-------------------------------	------------------------------------

ス 4. 液化石油ガス イ) ガスメーター (・買取り ・借用) 口) 集合装置 (・別途工事 ※本工事)
ハ) 転倒防止用の鎖 (・別途工事 ※本工事)

備	※ガス漏れ警報器工事は、住宅工事においては原則として行わない。
7. 施 工 資 格	液化石油ガス設備士による施工とする。

① ダクトの種類	※低圧ダクト ・ 高圧ダクト
② 厨房ダクトの板厚	厨房排気ダクト（矩形ダクトに限る）の板厚は、表1による

③スパイラルダクト ・耐火二層管工法 ・VP管工法
※厨房排気は原則としてアングル工法とすること

イ) 排気フードの補強及び支持金物、接合材等は、亜鉛鉄板製風道の当該事項による。
ロ) 材質 ※ステンレス製 ・亜鉛鉄板製

9. 送風機の基礎

工 事 名 称	津屋崎中学校校舎増築 1 期工事	機械工事 特記仕様書 (1)
---------	------------------	----------------

氏 名	管理建築士/後藤忠義 1級建築士 大臣登録第55043号			
事務所名	回	工	房	

及び所在地	KAI ARCHITECTS ATELIER				
-------	------------------------	--	--	--	--

14
受水設備

15
浄化槽設備

16
営繕
保温仕様

管類については○の印を塗りつぶしたものを適用する

空調設備工事(冷暖水)管

一般風道

17
住宅
保温仕様

管類については○の印を塗りつぶしたものを適用する

※加圧給水ポンプ（住宅物件）の仕様については、加圧給水ポンプユニット仕様書（国土交通省仕様）による。

※浄化槽仕様書による。

施工箇所	保温種別	区分
屋内露出	1.グラスウール 2.断熱 3.合成樹脂断熱カバー	給水 排水 給湯 ガス
機械室・倉庫	1.グラスウール 2.断熱 3.アルミガラスクロス	
天井内・PS内・空隙壁中	1.アルミガラスクロス仕付けグラスウール保温断熱 2.アルミガラスクロス断熱テープ	
床下・暗渠内	1.ポリスチレンフォーム保温断熱 2.断熱テープ 3.ポリエチレンフィルム 4.着色アルミガラスクロス	
床下・暗渠内・コナリ内	1.グラスウール 2.断熱 3.ポリエチレンフィルム 4.着色アルミガラスクロス	
屋外露出・多湿箇所	1.グラスウール 2.断熱 3.ポリエチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	
屋外露出・多湿箇所	1.ポリスチレンフォーム保温断熱 2.断熱テープ 3.ポリエチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	
黒管塗装	1.銀メッキペイント（2回） 2.銀合ペイント（2回）	
白管塗装	1.エポキシプライマー 2.銀メッキペイント（1回） 3.銀合ペイント（2回）	
施工箇所	保温種別	区分
屋内露出	1.グラスウール 2.断熱 3.ポリスチレン 4.合成樹脂断熱カバー	
屋内露出	1.ポリスチレンフォーム保温断熱 2.断熱テープ 3.ポリエチレンフィルム 4.合成樹脂断熱カバー	
屋内露出	1.断熱断熱の断熱材 2.保溫化被褥	
機械室・倉庫	1.グラスウール 2.断熱 3.ポリスチレンフィルム 4.アルミガラスクロス	
天井内・PS内・空隙壁中	1.アルミガラスクロス仕付けグラスウール保温断熱 2.アルミガラスクロス断熱テープ	
天井内・PS内・空隙壁中	1.グラスウール 2.断熱 3.ポリエチレンフィルム 4.アルミガラスクロス	
天井内・PS内・空隙壁中	1.ポリスチレンフォーム保温断熱 2.断熱テープ 3.ポリエチレンフィルム 4.アルミガラスクロス	
床下・暗渠内・コナリ内	1.グラスウール 2.断熱 3.ポリエチレンフィルム 4.着色アルミガラスクロス	
床下・暗渠内・コナリ内	1.ポリスチレンフォーム保温断熱 2.断熱テープ 3.ポリエチレンフィルム 4.着色アルミガラスクロス	
屋外露出・多湿箇所	1.グラスウール 2.断熱 3.ポリエチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	
屋外露出・多湿箇所	1.ポリスチレンフォーム保温断熱 2.断熱テープ 3.ポリエチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	
屋外露出・多湿箇所	1.断熱断熱の断熱材 2.保溫化被褥 3.断熱テープ 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	
屋外露出・多湿箇所	1.断熱断熱の断熱材 2.ラッキング（ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板）	
区分	保温種別	区分
機械室・倉庫・居室・廊下	1.断熱 2.アルミガラスクロス仕付け 3.断熱テープ 4.アルミガラスクロス	
矩形風道	1.断熱 2.アルミガラスクロス仕付け 3.断熱テープ 4.アルミガラスクロス	
内形風道（スパイラルダクト）	1.アルミガラスクロス仕付け 2.断熱 3.断熱テープ 4.断熱テープ	
区分	保温種別	区分
矩形	1.断熱 2.断熱テープ 3.断熱テープ 4.断熱テープ	
円形	1.断熱 2.断熱テープ 3.断熱テープ 4.断熱テープ	
煙道	1.断熱 2.断熱テープ 3.断熱テープ 4.断熱テープ	
※	※	※

18
建設副産物の処理について

資源の有効利用、環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進する。現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し、集積すること。

また、「再生資源の利用の促進に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に定め、指定された方法により適正に処理を行うこと。工事に際しては、工事着手前に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」（共に添付書類を含む）を提出すること。

有価物（スクラップ）については受注者責任の元、適切に処分を行うこと。処分を行った場合は、マニフェストと別に、有価物としての処分量が確認できる伝票等を添付すること。

指定副産物（原則として再資源化施設へ持込むもの）	その他の副産物
・がれき類（コンクリート塊）（アスファルト塊）	・廃プラスチック・ガラス、陶磁器くず・廃石こうボード・金属くず・繊維くず
・汚泥	
特別管理産業廃棄物	
・廃石棉等	
1. 事前調査及び調査結果報告 本工事は石棉含有物の事前調査が必要な工事で、調査は法令で定められた有資格者が実施すること。また調査結果を石棉事前調査報告システムにより報告し、作業開始前に監督職員へ書面でも説明すること。事前調査で結果の有無が明らかにならない場合は、監督員と協議の上、必要に応じ分析調査を行うこと。	
2. 除去処理 アスベスト含有保温材等（煙突用断熱材は除く）の除去は可能なかぎり粉じん飛散抑制剤に十分に湿潤化した後、手ばらしで行う事。手ばらし以外の除去（グローブバック方式による除去は除く）の場合は、「改修仕様」9.1.3および「改修指針」9.1.3による。	
3. 汚染物処分 アスベスト含有保温材等（煙突用断熱材は除く）の除去は可能なかぎり粉じん飛散抑制剤に十分に湿潤化した後、手ばらしで行う事。手ばらし以外の除去（グローブバック方式による除去は除く）の場合は、「改修仕様」9.1.3および「改修指針」9.1.3による。	
（1）除去したアスベスト含有保温材等の処理方法は、「改修仕様」9.1.3（b）（2）及び「改修指針」9.1.3（b）（2）により、密封処理する。	
（2）施工区域内において、アスベスト含有保温材等の廃材を高所から移動する場合は、揚重機を使用して、アスベスト含有保温材等を高所より落下させない事。なお、アスベスト含有保温材等の保管、運搬、処分等については、「改修仕様」9.1.3（c）及び「改修指針」9.1.3（c）による。	
・廃PCB等 「電気事業法：電気関係報告規制」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書を作成し届出を行うこと。また廃PCBについては、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。	

※参考受入場所は現場説明書による

建設副産物の処理内容	備考
現場内における分別	
現場内分別保管場所の設置	
現場内分別保管場所までの運搬	
分別保管場所からの積込み・運搬・処分	
「建設副産物の処理計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「建設副産物の処理結果報告書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用実施書」の作成	下請工事の場合は不要

19
フロン処理について

「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に従い処理すること。

発注者（施設管理者）	工事請負業者	第1種フロン類販売回収業者	フロン類回収・運搬
業務用冷凍空調機器の有無の事前確認等の協力 委託確認書	業務用冷凍空調機器の有無の確認 確認書を提出する フロン回収証明書 引取証明書、業者登録書のコピー	第1種フロン類販売回収業者	フロン類回収・運搬
フロン類引渡 回収・運搬・破壊費用支払 委託確認書	引取証明書	引取証明書、業者登録書のコピー	フロン類回収・運搬
第1種フロン類販売回収業者	第1種フロン類販売回収業者	第1種フロン類販売回収業者	第1種フロン類販売回収業者

※工事請負業者は、第1種フロン類販売回収業者にフロン回収処理を依頼し、回収後、引取証明書及び第1種フロン類販売回収業者登録書のコピーの発行を受け、竣工図面に添付のこと。

※「家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）」に該当する機器（ルームエアコン等）については、適切に処理し、管理票（家電リサイクル票）を竣工図面に添付すること。

20
中水道配管設備

3. 誤接続の防止対策

配管等	※塗装できない管種にはテープ巻きを施すこと
屋内暖かい配管	1. 保温前の管種に若草色の着色塗装を行う。 2. 保温後の上には若草色の表示テープを1箇所3回巻きにし、1m間隔に巻く。
屋内・屋外露出配管	1. 保温前の管種に若草色の着色塗装を行う。 2. 保温後の裏面には「処理水」と表示する。
地中埋設配管	1. 埋設前の管種に若草色の表示テープを1箇所3回巻きにし、1m間隔に巻く。 2. 「処理水」の文字入り埋設標識テープ（黄色）を布設する。（地中埋設部）
コンクリート内埋設部の配管	1. 埋設前の管種に若草色の表示テープを1箇所3回巻きにし、1m間隔に巻く。 2. 「処理水」の文字入り埋設標識テープ（黄色）を布設する。（地中埋設部）
メーター	1. メーター本体に若草色の着色塗装を行うこと。 2. メーターボックス蓋は「処理水」入りを使用すること。
バルブ等	1. バルブハンドルには若草色の着色塗装を行うこと。 2. バルブ等で誤操作する恐れのある箇所には、標示板等を取り付け処理水の等であることが識別できるようにする。 3. 地中埋設バルブの鉄蓋は「処理水」入りを使用すること。

注）若草色とは黄緑色をいう。
処理水用の若草色表示テープ、黄色の埋設標識テープは福岡市管工事組合に常備。
井戸水を雑用水として使用する場合は、上表において「若草色を黄色に」「処理水を雑用水」と読みかえる。

誤接続がないことを確認するため衛生器具等の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験等を行う。

図1 防火区画等貫通部措置

給水管、排水管及び通気管等が防火区画等を貫通する場合の措置は、建築基準法施行令第129条の2の4第1項第7号に規定されており、次のいずれかに該当すること。

1. 防火区画等の貫通部分及び両側1m以内を不燃材料で遮ること。（右参照参照）
※ 耐火二層管は不燃材料に該当せず、後述の3.に従う。

2. 平成12年建設省告示第1422号に適合すること。（下表）
（難燃材料又は硬質塩化ビニル管（VP）を用いる場合）

用途	覆いの有無	肉厚	防火構造	30分耐火構造	1時間耐火構造	2時間耐火構造
給水管		5.5mm以上	90mm (75)			
		6.6mm以上	115mm (100)		90mm	
		4.1mm以上	61mm (50)			
排水管及び排水管に付属する通気管	無し	5.5mm以上	90mm (75)		61mm	
		6.6mm以上	115mm (100)		90mm	61mm
		5.5mm以上	90mm (75)			
		6.6mm以上	115mm (100)		90mm	
		7.0mm以上	141mm (125)		115mm	90mm

※表中の（ ）内は適合可能な硬質塩化ビニル管（JIS K 6741のVU管を除く）の呼び径寸法を示す。
※呼称寸法未満の給水管等については、JISに適合した硬質塩化ビニル管であれば、表中の肉厚に満たなくとも同等の性能を有しているものとして取り扱う。

3. 国土交通大臣の認定を受けたものであること。

例1 硬質塩化ビニル管（RF-VP）が防火区画貫通部テープを用いる場合（右参照参照）

例2 耐火二層管を認定条件に従って施工する場合（立管はすべて耐火二層管とし、横管は立管の分岐から1mまでを耐火二層管とし、その延長部分を硬質塩化ビニル管とした場合など）

表1 横走り管の吊り及び振れ止め支持間隔

横走り管の吊り、形鋼振れ止め支持間隔は下記の通りとする。

分類	呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	
吊り金物による吊り	鋼管・ステンレス鋼管	2.0m以下					3.0m以下									
	ビニル管	1.0m以下					2.0m以下									
	鋼管	1.0m以下					2.0m以下									
形鋼振れ止め支持	鋼管・ステンレス鋼管	8.0m以下					12.0m以下									
	ビニル管	6.0m以下					8.0m以下									
	鋼管	6.0m以下					8.0m以下									

※冷媒用銅管の横走り管吊り金物間隔は、銅管の基準外径が9.52mm以下の場合は1.5m以下、12.7mm以上の場合は2.0m以下とし、形鋼振れ止め支持間隔は銅管に準ずる。ただし、液管・ガス管共吊りの場合は液管の外径とするが、液管25mm未満の形鋼振れ止め支持間隔はガス管の外径による。

図2 機器の吊り施工例

吊り長さが250mm以上、重量10kg以上の設備機器（天井吊型ファンコイルユニット、天井吊型またはカセット型のパッケージ形空調機と機器内蔵、天井吊型またはカセット型のパッケージ形空調機と機器内蔵、天井吊型またはカセット型のパッケージ形空調機と機器内蔵）については、吊架を給湯吊りボルトで支持し、吊り合う2本箱にX状斜材を斜め具で堅固に取り付けて、天井との相関変位を抑制すること。

※ X状斜材の規定取付角度（45±15度）が確保できない場合や吊り長さが1500mmを超える場合は斜材を複数段設置するか、鋼製架台を用いることにより、規定取付角度を確保すること。ただし、吊り長さが500mm以下の場合に限り、ワンサイズアップ（W1/2またはM12以上）の吊りボルトを使用すれば斜材同等として取り扱う。

図3 配管埋設参考

埋設深さH	埋設参考
1 300以上	
2 600以上	
3 以上	

図4 弁制

記号	弁の呼び径	B	B	T	t'	t''	ふた
VC-P	25 以下	200φ	550	75	75	75	B1
VC-1	40 以下	180x180	850	100	100	100	B1
VC-2	50 ~ 80	300x300	700	100	100	120	MHA-P300
VC-3			900				
VC-5	100 ~ 200	450x450	1,200	120	120	120	MHA-P450

注（イ）本表のB及びH寸法は、5K仕切弁を対象とする。
（ロ）コンクリート部には、必要に応じ鉄筋を入れる。なおコンクリート部は工場製品でもよい。
（ハ）側底部には、必要ある場合は、水抜管を設ける。

図5 異種金属接続部

異種金属接続部は、屋外埋設配管を除き電食防止のため、異種金属接続用絶縁継手を使用すること。使用箇所を下記に示す。

1. 砲金製バルブと塩ビラインング鋼管接続部（コア入りバルブは除く。）

2. 衛生器具（水栓、便器、洗面器等）接続部と塩ビラインング鋼管接続部

3. マイクロエアバンド及びエアセパレーターと塩ビラインング鋼管接続部

4. 水道メーター（砲金）、伸縮弁（砲金）、伸縮メーターユニオン（砲金）と塩ビラインング鋼管接続部

5. 水抜きテスト弁と塩ビラインング鋼管接続部

6. 上記以外の異種金属接続部

表2 厨房排気ダクトの板厚

厨房排気ダクト（矩形ダクトに限る）の板厚については、以下による

ダクトの長辺	板厚
450以下	0.6以上
450を超え1,200以下	0.8以上
1,200を超え1,800以下	1.0以上
1,800を超えるもの	1.2以上

※原則、アングルフランジ工法にてシールを施すこと

参考図

参考図1 水槽類埋設

参考図2 ドロップ脚参考図

（※副管サイズは主管サイズより1サイズ下でも可。）

参考図3 小口径側取付要領図

（1）重荷重	（2）軽荷重

R6-6

年 月 日

工事名称

津屋崎中学校校舎増築1期工事

機械工事 特記仕様書（2）

工事場所

福岡県福津市津屋崎1丁目5-16

図 号

M-02 号

設計者氏名

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-1451号 管理建築士（後援者） 一級建築士 大臣登録第504号

事務所名

回 工 房

設計者及び所在地

KA1 ARCHITECTS ATELIER

施 工 区 分 表

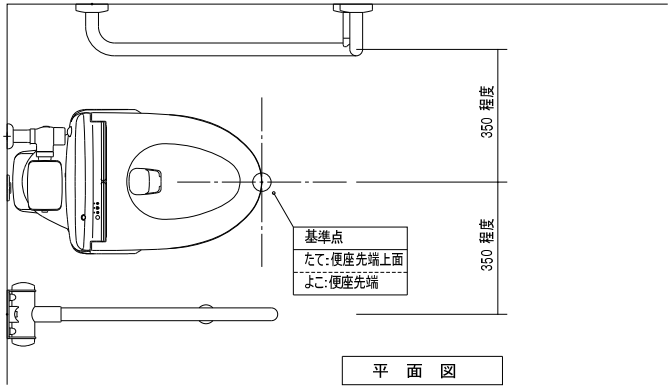
(○印を塗りつぶしたものを適用する)

工 事 内 容			建 築	外 構	植 栽	電 気	電 話	昇 降	給 衛	空 調	ガ ス	黒 板 畳	備 考
機器の基礎	電気関係	屋内	○										電 気 と 十 分 協 議 す る こ と
		配電盤・制御盤の基礎	屋外	●									
		屋上	○										
		自家発電機の基礎（アンカーボルトを除く）		○									
		テレビアンテナの基礎（ "		○									
		避雷針の基礎（ "		○									
	機械関係	屋内設備		○									機 械 と 十 分 協 議 す る こ と
		屋外設備（架台、アンカーボルト含む）		○									
		屋上設備（架台、アンカーボルト除く）		○									
開口部	特記した基礎												
	梁、床、壁	補強を要するもの				●	●	○	●	●	○		
	貫通スリーブ	補強を要しないもの				●	●	○	●	●	○		
	梁、床、壁	補強を要するもの	●										
	貫通部型枠	補強を要しないもの	●										
	軽量鉄骨下地、	補強を要するもの	●										
	壁・天井ボード類の切込み	補強を要しないもの	●										
	埋込型分電盤、	補強を要するもの	○										
	端子盤等の型枠	補強を要しないもの	○										
	上記開口部の補強		●										
	上記開口部の墨出し					●	●	○	●	●	○		
	スリーブの穴埋め（型枠の穴埋めを含む）					●	●	○	●	●	○		
	○Aフロア器具取付用		○										
点検口	床、壁、天井		●										
ガラリ	外壁面（ダクト、チャンバーの接続用含む）		○										
	建具取付		○										
	空調用リターン									○			
排気フード	厨房								○	○	○		
	上記以外								○	○	○		
換気扇の取付枠及びアルミパネル			○										
換気扇	壁換気扇（ウェザーカバー含む）									○			
	天井換気扇（ペントキャップ含む）									●			
流し台	排水トラップ含む		●										
防油堤	オイルサービスタンクの防油堤	自火発電用	○										
		空調用	○										
床下水槽のマンホール蓋	トラップ含む		●										
屋外配水管	雨水		●										
雨水堅樋	汚水、雑配水管								●				
身障者用便所手すり	ルーフトレイン含む		●										
はめ込み形洗面器用カウンター（前板共）			●										
ガスボンベ転倒防止用の鎖											○		
電気配管配線	機械設備機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共）									○			
	機械設備機器付属の制御盤と電源供給及び配管配線					○							
	機械設備自動制御と電気設備盤との電源供給					○							
	機械設備自動制御と電気設備盤との操作回路の渡り配管配線									○			
	天井吊り型FCU、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチとの渡り配管					○							
	天井吊り型FCU、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチとの渡り配線									●			
	天井吊り型FCU、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチ									●			
	天井吊り型FCU、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチ埋込ボックス					●							
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパー及び排煙口に至る配管配線					●							
	小便器用節水装置制御盤以降の配管配線								●				
	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部への電源供給					○							
	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部		○										
	自動ドア及び電動シャッターなどの操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ					○							
	防火扉レリーズ					●							
	電極棒（フロートスイッチ含む）								○				
パッケージエアコンの配線	配線ビット及び蓋		○										
	別途機器などへの接続					○			●	○			
	室外機・室内機間の伝送線									●			
	室外機・室内機間の電源渡り線									●			
	室内機・リモコン間の配線									●			
	室内機・リモコン間の配管					●							
ガス配管配線	リモコン埋込ボックス					●							
	室内機・集中リモコン間の渡り伝送線									●			
	ガス漏れ探知機（遮断弁連動）										○		
	○Aフロア用配線器具					○							
	電気錠	電気錠及び通電金具	○										
		T E Nキー及び制御盤				○							
エレベーター出入口三方枠（金属製）								○					大理石のみ建築工事
シャワーユニット（バスユニット）			○										
ガス給湯器リモコン用ケーブル									○		○		
ガス給湯器電線管及びボックス						○							
消火栓始動器（起動装置）						○							
畳工事												○	
黒板工事	下地補強		●										
	黒板・白板・掲示板		●									○	
植栽工事					●								

多目的便所器具設置要領図

A1:1/10
A3:1/20

※大便器位置、手すり、紙巻器 取付位置は 要領図に準じること。



- ① L型手摺（建築工事）
- たて: 基準点+250 程度
- FL+650（一般便器）
- FL+700（高座面便器）
- よこ: 基準点+250 程度

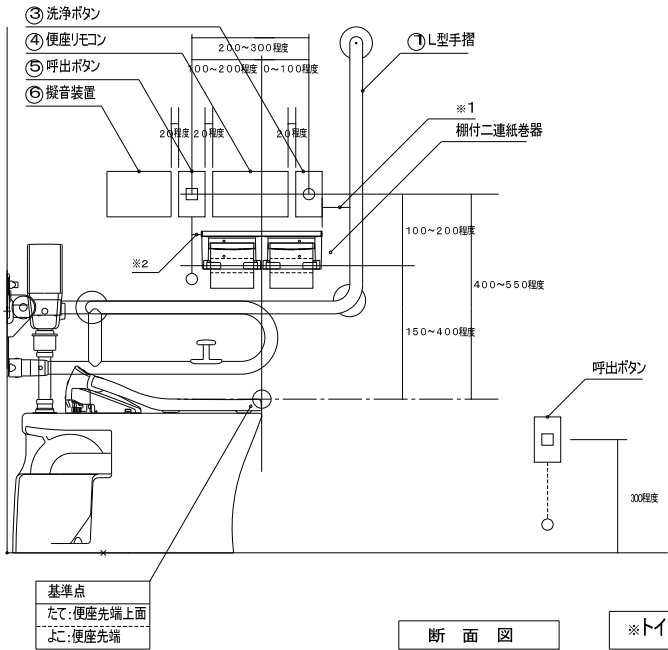
- ② 棚付二連紙巻器（機械工事）
- よこ: 紙巻器芯＝基準点
- ※1 手置面との間を50mm以上
- 確保

- ③ 洗浄ボタン（機械工事）

- ④ 便座リモコン（機械工事）

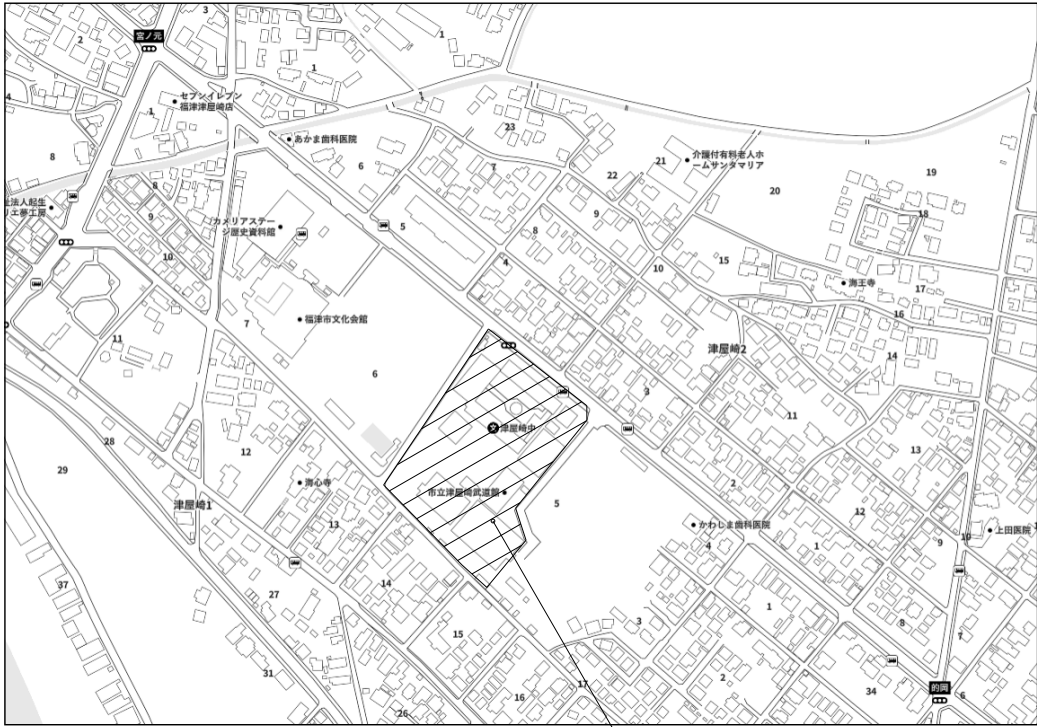
- ⑤ 呼出ボタン（電気工事）
- ※2 引きひもが棚に掛らない事。

- ⑥ 擬音装置（機械工事）



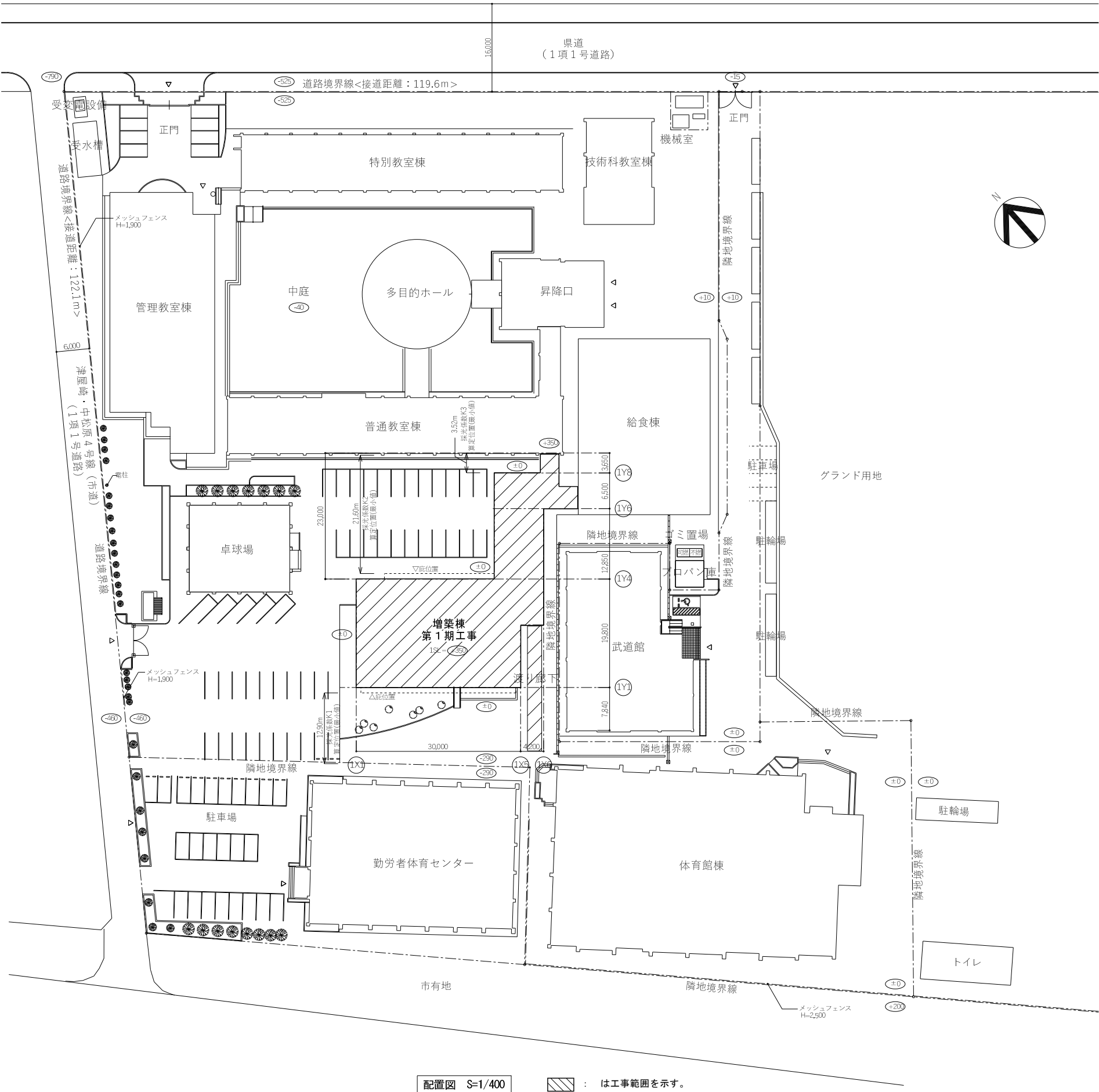
※トイレリモコンの設置位置は、JIS-S-0026によること。

R 6 - 6		年 月 日	
工事名称		津屋崎中学校校舎増築 1 期工事	
工事場所		福岡県福津市津屋崎1丁目5-16	
設 計 者	設 計 者 名	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-11451号 管理建築士/後藤忠義 1級建築士 大匠登録第5504号	印
	事業所名 及び所在地		



工事場所：津屋崎中学校
住所：福岡県福津市津屋崎1丁目5-16

附近見取図



配置図 S=1/400

は工事範囲を示す。

回 工 房 KAI ARCHITECTS ATELIER	1級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-11451号	管理建築士 1級建築士 大臣登録第55043号 代表取締役 後藤忠義	特記事項		工事名称 津屋崎中学校校舎増築 1 期工事	図面名称 付近見取図・配置図	日付	図面番号 M-04
							縮尺 A1 : 1/400 A3 : 1/800	

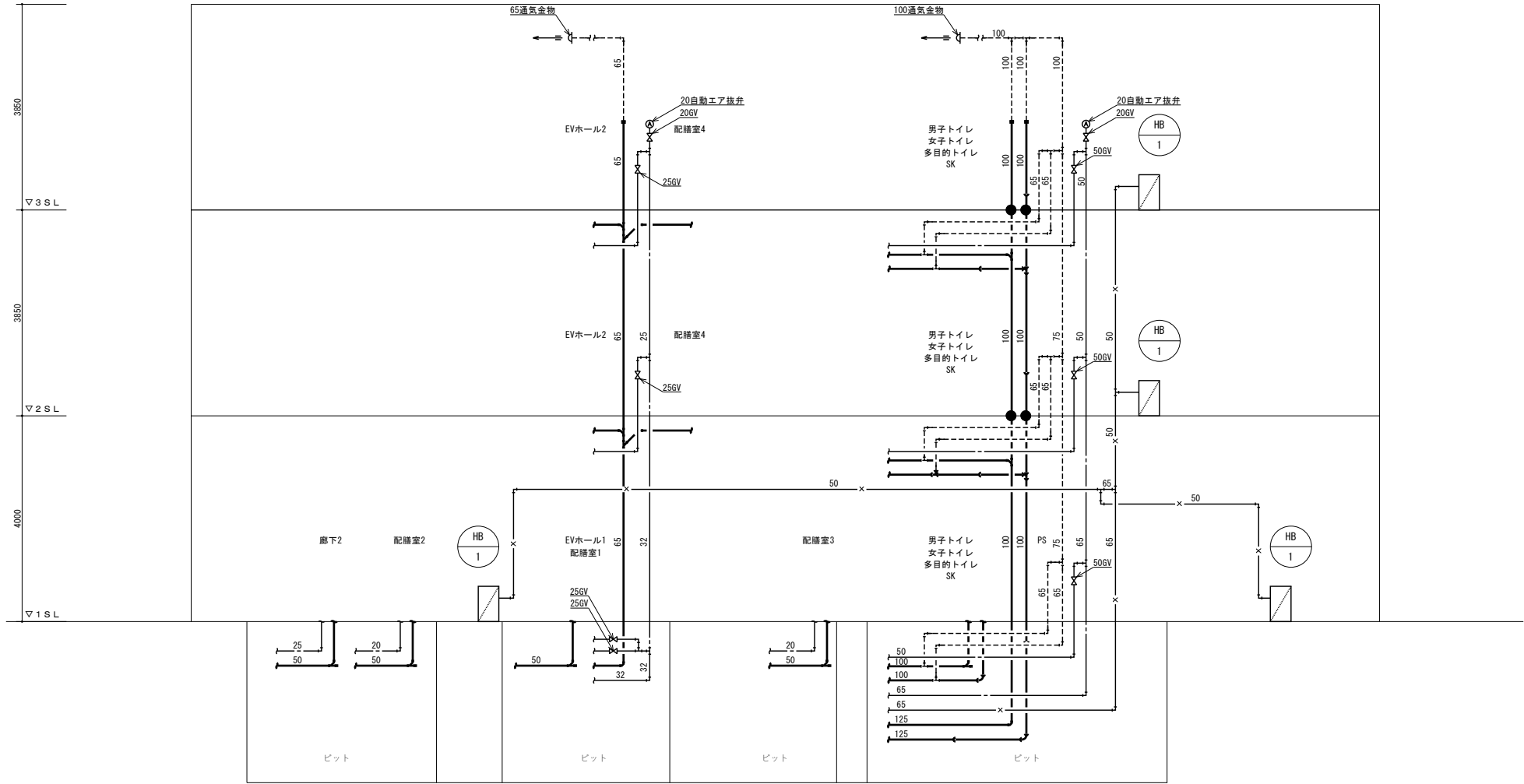
衛 生 設 備 凡 例					
記 号	名 称	仕 様	記 号	名 称	仕 様
———○———	給水管（土中・ビット）	水道用硬質塩化ビニル管（SQP-VD）	———○———	汚水管（一般部）	硬質塩化ビニル管（VP）
———○———	給水管（屋内一般）	水道用硬質塩化ビニル管（SQP-VA）	———○———	汚水管（土中・ビット）	硬質塩化ビニル管（VP）
———○———			———○———	雑排水管（一般部）	硬質塩化ビニル管（VP）
———○———			———○———	雑排水管（土中・ビット）	硬質塩化ビニル管（VP）
———○———	消火管（一般部）	配管用炭素鋼銅管（白）	———○———	屋外排水管（土中）	硬質塩化ビニル管（VP）※125A以上はVUとする
———○———	消火管（土中部）	消火用硬質塩化ビニル外面被覆銅管（SQP-VS）			
			—————	通気管（一般部）	硬質塩化ビニル管（VP）
			—————	雑排水管（土中部）	硬質塩化ビニル管（VP）
⑤	消火器	ABC10型、表示板	□杭 ●ピン	埋設標示	杭：エポキシ製 ピン：鉄製

注記）1. 排水（生活・雨水）管の管径、勾配とその算出方法は、SHASE、排水負荷単位法による。
2. 異種金属の配管を接続する箇所は絶縁処置を行うこと。

機 器 表								
記号	機 器 名	仕 様	電 気 容 量			台数	設 置 場 所	備 考
			φ	V	KW			
HB 1	屋内消火栓	型 式 : 1号屋内消火栓 総合型 埋込床設置				1	1階 廊下1	
		付 属 品 : ノズル40φ×13φ、ホース15m×2本、ホース掛け				1	1階 EVホール1	
		その他付属品一式				1	2階 廊下3	
						1	3階 廊下3	

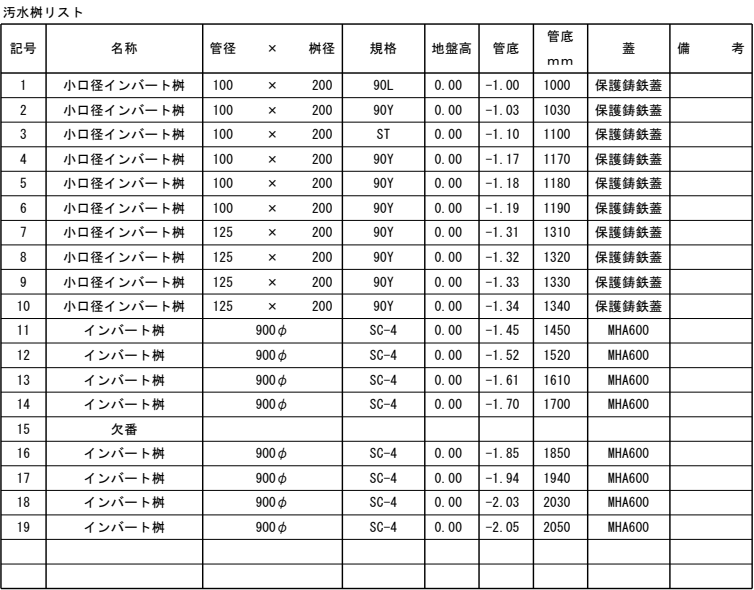
器 具 表																										
名 称	参考品番・付属品	1階								2階						3階						合 計	備 考			
		男子トイレ	女子トイレ	多目的トイレ	S K	配膳室1	配膳室2	配膳室3	廊下2	E Vホール1	男子トイレ	女子トイレ	多目的トイレ	S K	配膳室4	E Vホール2	男子トイレ	女子トイレ	多目的トイレ	S K	配膳室4			E Vホール2		
洋風大便器	CFS498B（フラッシュタンク式）、TC301（蓋無し普通便座）、YH702（紙巻器）、その他付属品一式	3	8							3	8					3	8						3	3		
多目的用大便器	CFS498B（フラッシュタンク式）、TCF5841AUP（蓋無し暖房洗浄便座 1φ100V 1260W）、YH702（紙巻器）、リモコン便座洗浄ユニット（TCA347）、その他付属品一式			1								1						1					3			
小便器	UFS900JS（1φ100V）、その他付属品一式	6								6						6							18			
はめ込み洗面器	LS351C、TLE28SS1A（感知式自動単水栓）、TLDP2105JA（壁排水金具）、止水栓、その他付属品一式 ※カウンター建築工事	4	5							4	5					4	5						2	7		
多目的用洗面器	L270C、TLE33SB3A（感知式自動単水栓）、TLDP2201JA（壁排水金具）、バックハンガー、止水栓、その他付属品一式			1								1						1					3			
壁掛洗面器	L250C、TLS01302JA（混合水栓）、REWFO3B1RSM（電気温水器 1φ100V 600W）、TLDP2201JA（壁排水金具）、止水栓、その他付属品一式					1	1	1						1						1			5			
掃除用流し	SK22A、T23AEQ20C（レバー式水栓）、T37SGEP（ストラップ）、止水栓、バックハンガー、その他付属品一式				1								1						1				3			
オストメイトバック	UAS81RDB1NW（セット品番）、その他付属品一式			1																			1			
盗難防止型耐食鏡	YMZ3545FE、350×450	4	5			1	1	1		4	5			1		4	5			1			3	2		
盗難防止型耐食鏡	YMZ4560FE、450×600			1								1						1					3			
立水栓	T136SUNR13C								3	3					3							3	1	2		
横水栓	T28AUNH13																									

特記）（1）表記中の品番は参考品番であり、同等品以上の器具を用いる事。

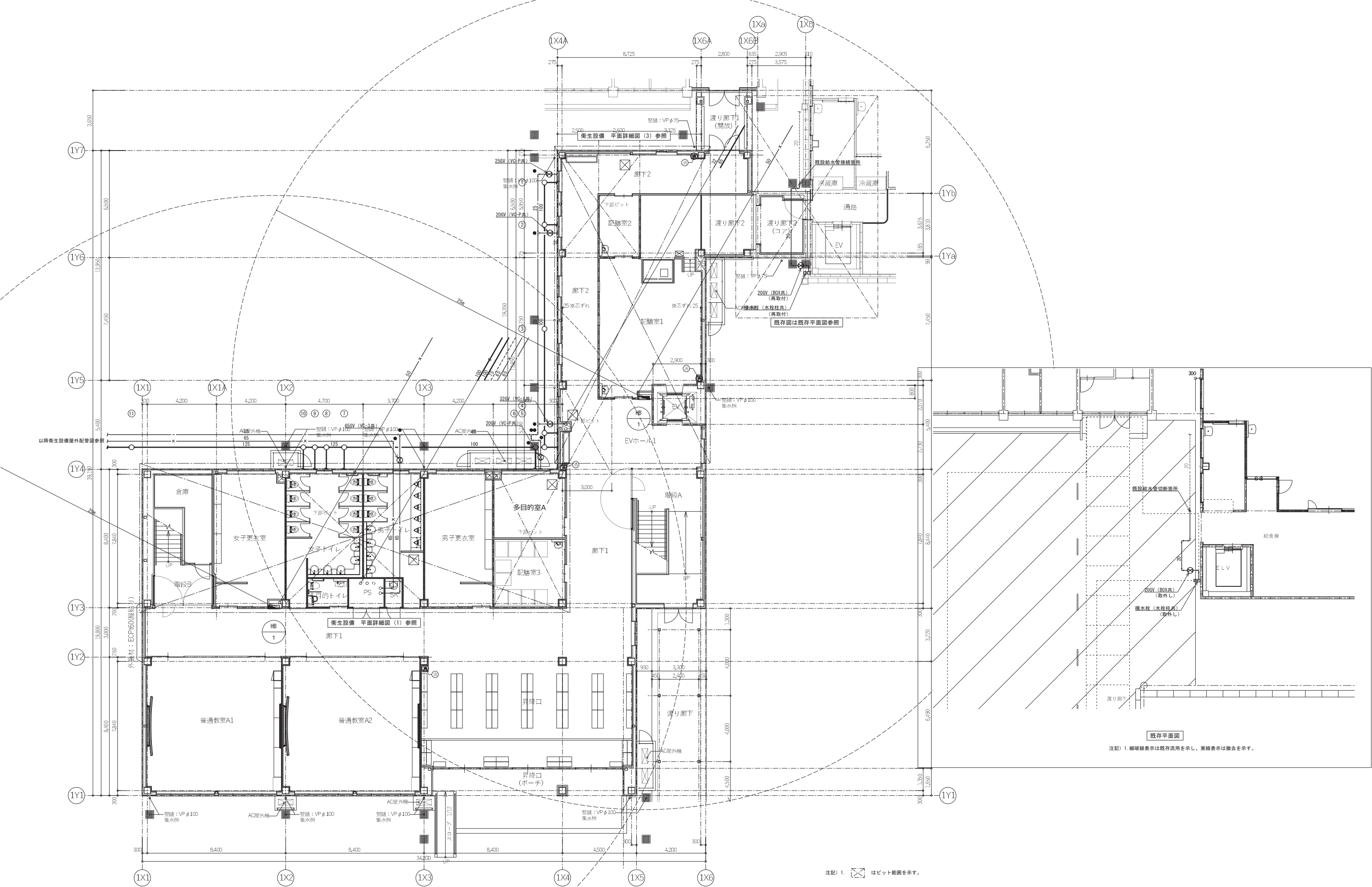


衛生設備 系統図

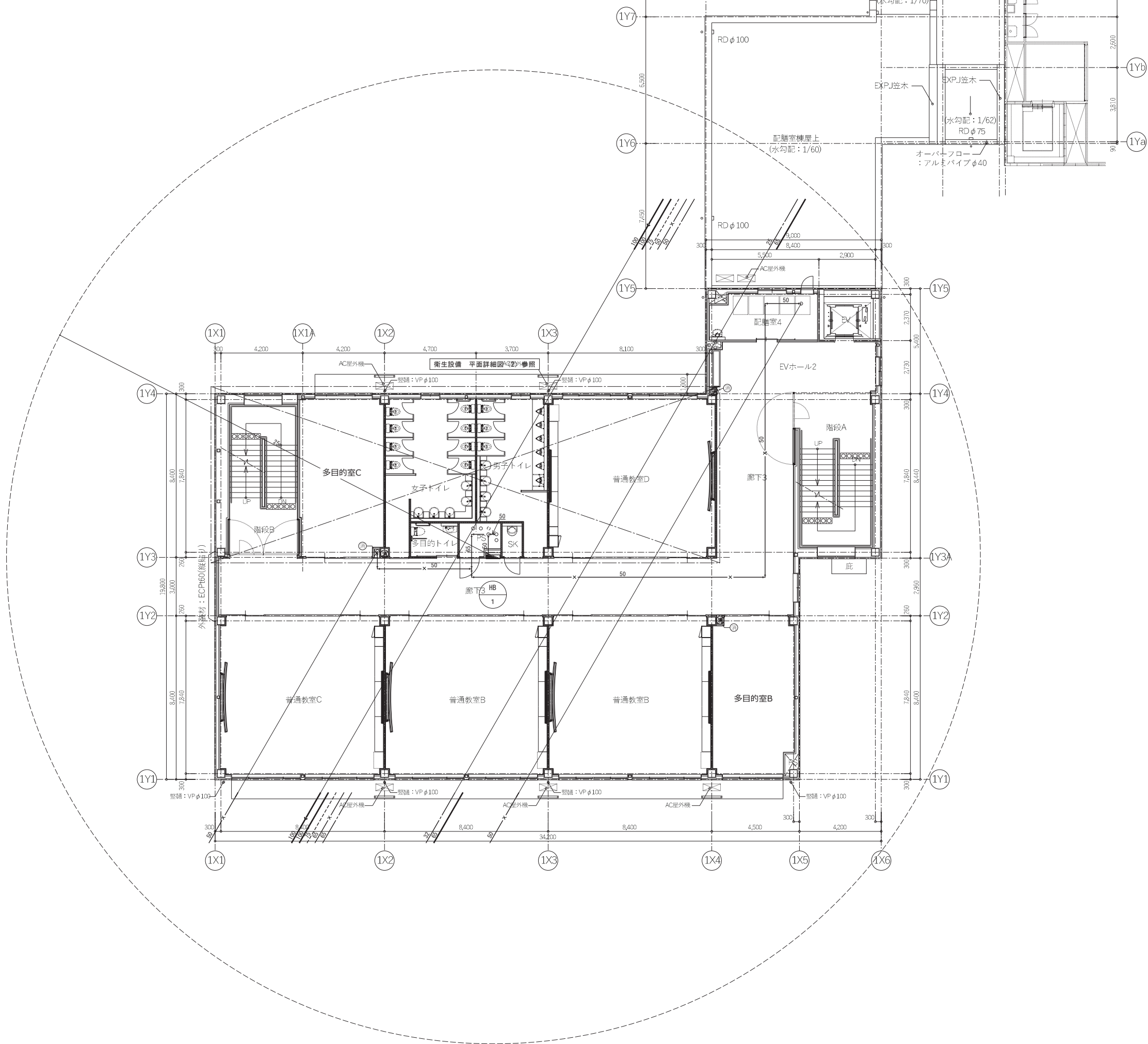
注記) 1. ● 防火区画貫通処理箇所 (国土交通大臣認定工法)

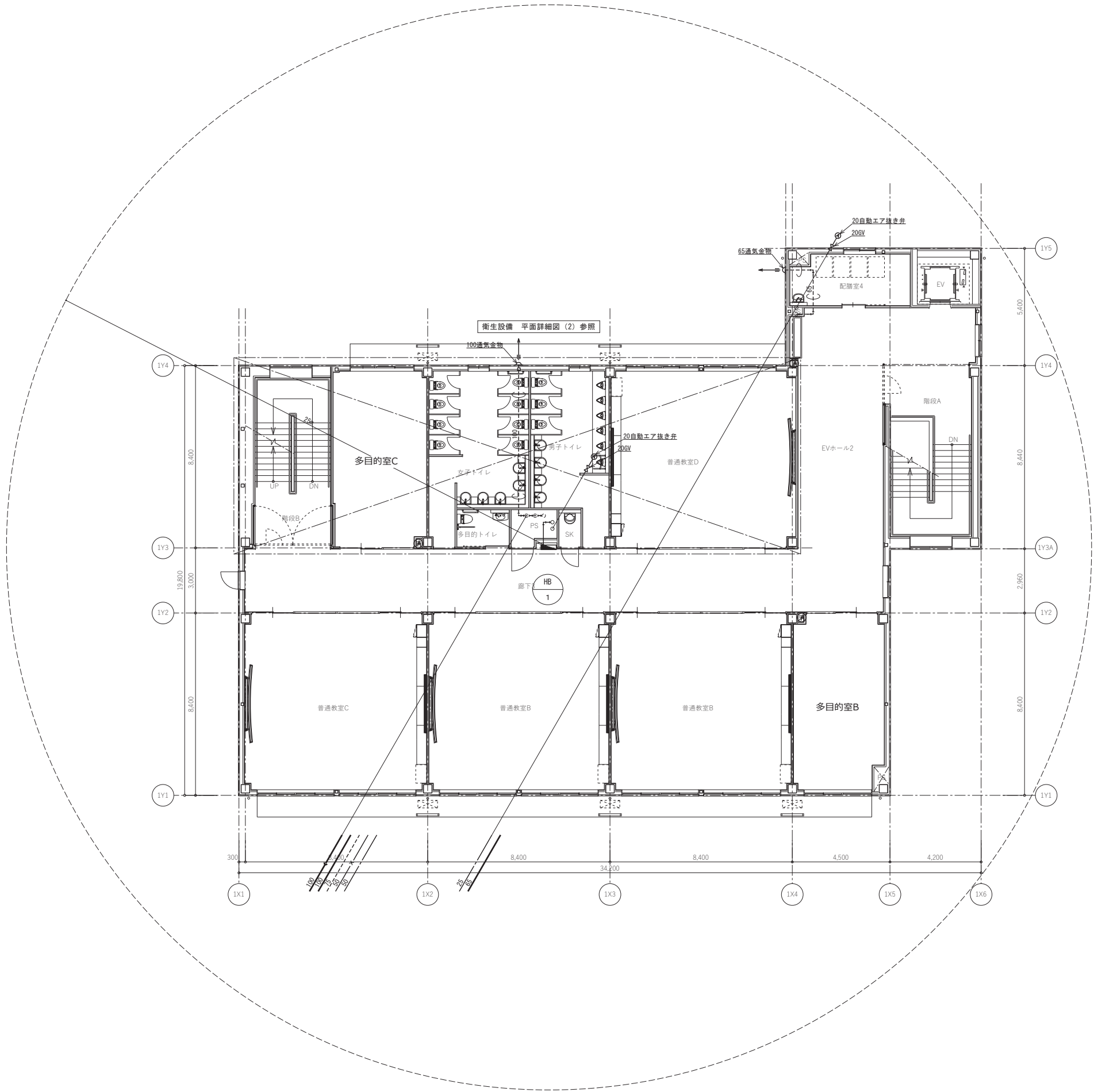


回 工 房 KA1 ARCHITECTS ATELIER	1 級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-11451 号	管理建築士 1 級建築士 代表取締役 大匠登録第55043号 後藤忠義	特記事項	工事名称 津屋崎中学校校舎増築 1 期工事	図面名称 衛生設備 屋外配管図	日付 縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	図面番号 M-07
--	-------------------------------------	---	------	--------------------------	--------------------	--------------------------------------	--------------



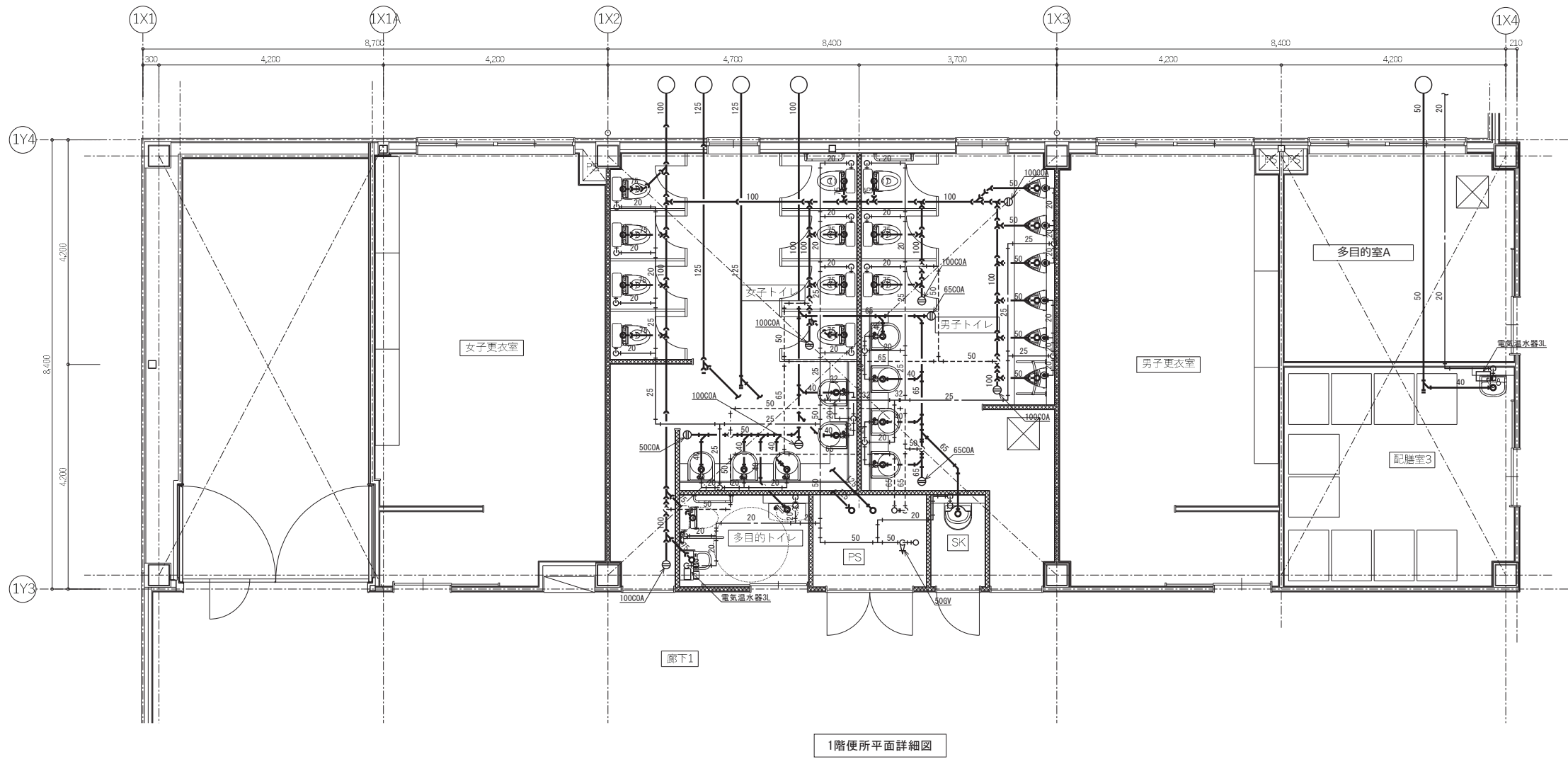
回工房 KAI ARCHITECTS ATELIER	1級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-11451号	管理建築士 1級建築士 代表取締役 大臣登録第55043号 後藤忠義	特記事項		工事名称 津屋崎中学校校舎増築 1 期工事	図面名称 衛生設備 1階平面図	日付	図面番号 M-08
							縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	





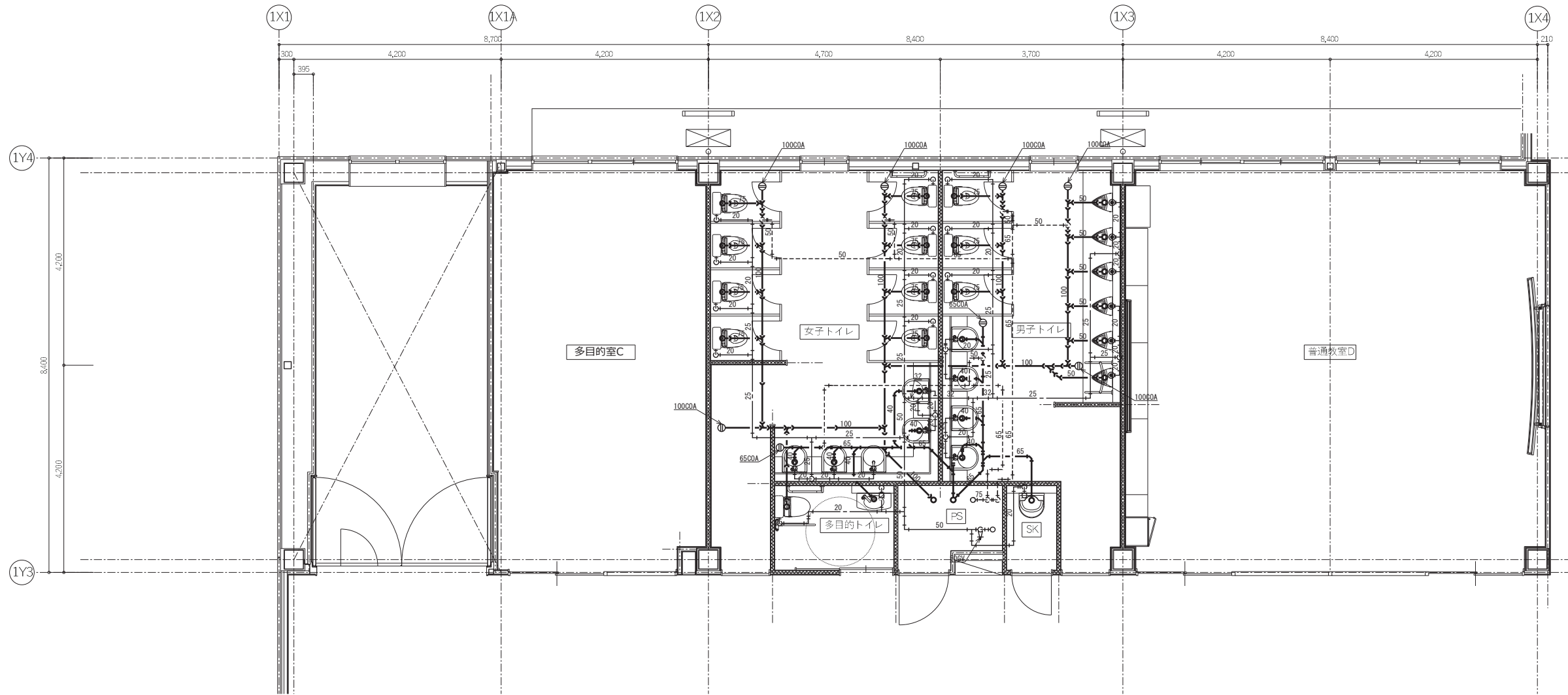
注記) 1.  は天井内配管を示す。

回 工 房 KAI ARCHITECTS ATELIER	1級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-11451号	管理建築士 1級建築士 大臣登録第55043号 代表取締役 後藤忠義	特記事項		工事名称 津屋崎中学校校舎増築 1 期工事	図面名称 衛生設備 3階平面図	日付	図面番号 M-10
							縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	

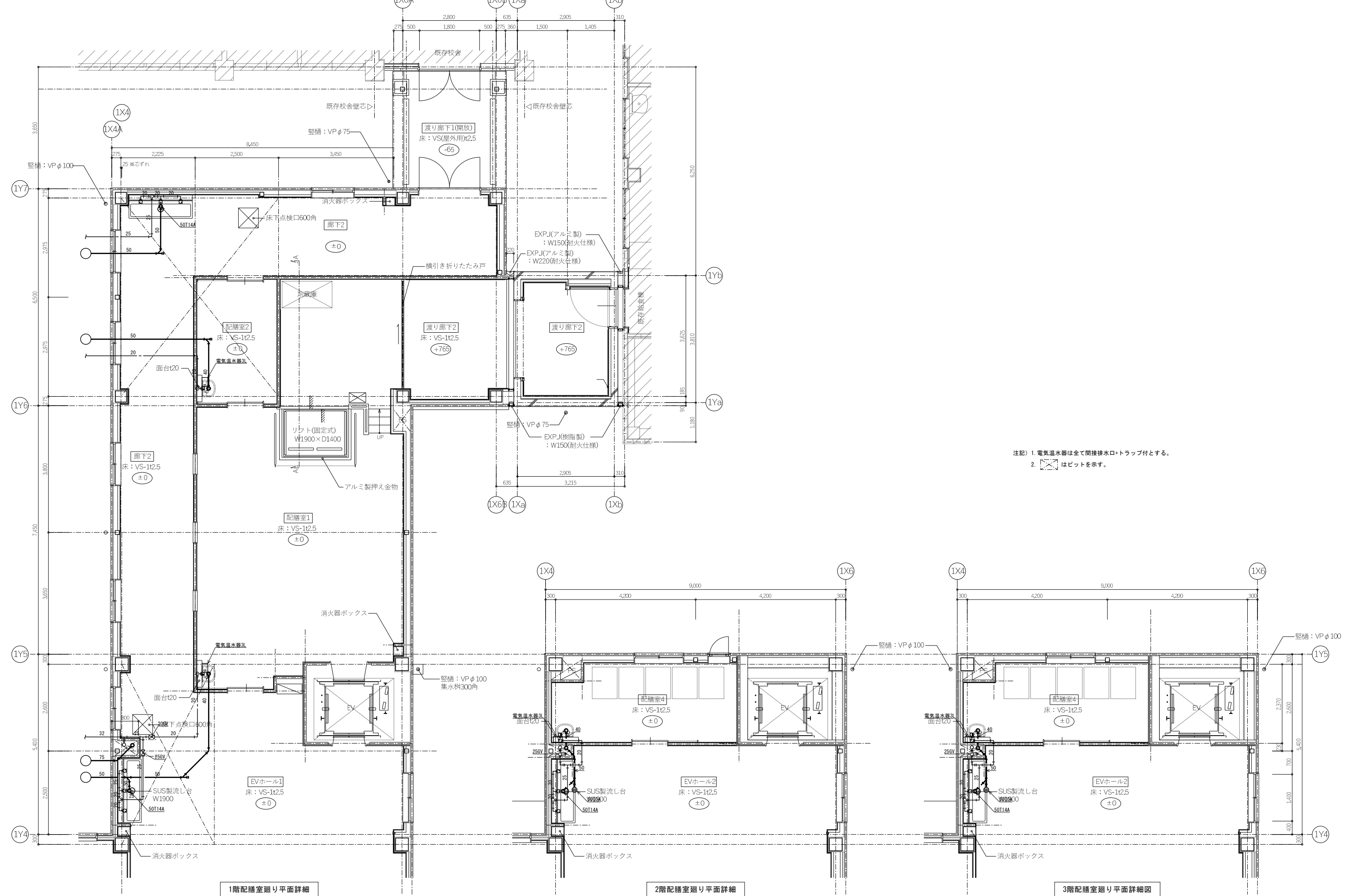


- 注記) 1. 電気温水器は全て間接排水口+トラップ付とする。
2. はピットを示す。

回 工 房 KAI ARCHITECTS ATELIER	1級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-11451号	管理建築士 1級建築士 大臣登録第55043号 代表取締役 後藤忠義	特記事項		工事名称 津屋崎中学校校舎増築 1 期工事	図面名称 衛生設備 平面詳細図 (1)	日付	図面番号 M-11
							縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	



2・3階便所平面詳細図



回 工 房 KAI ARCHITECTS ATELIER	1級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-11451号	管理建築士 1級建築士 代表取締役 大臣登録第55043号 後藤忠義	特記事項		工事名称 津屋崎中学校校舎増築 1 期工事	図面名称 衛生設備 平面詳細図 (3)	日付	図面番号 M-13
							縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	

空 調 設 備 凡 例							
記 号	名 称		仕 様	記 号	名 称		仕 様
——R——	冷媒管	冷媒用被覆銅管（断熱厚さは下記による）	——OA——	外気ダクト	低圧ダクト・中圧ダクト（垂鉛鉄板製）		
		※液管10mm、ガス管20mm	——EA——	排気ダクト	低圧ダクト・中圧ダクト（垂鉛鉄板製）		
——D——	ドレン管（一般部）	空調用結露防止層付塩化ビニル管（ACVP）					
——D——	ドレン管（屋外露出）	硬質塩化ビニル管（HVP）		ベントキャップ	SUS製深型フード指定色塗装付壁装仕上げ		
——D——	ドレン管（土中）	硬質塩化ビニル管（VP）				※上記以外は防鳥網程度とする。	
				天井点検口		別途建築工事	

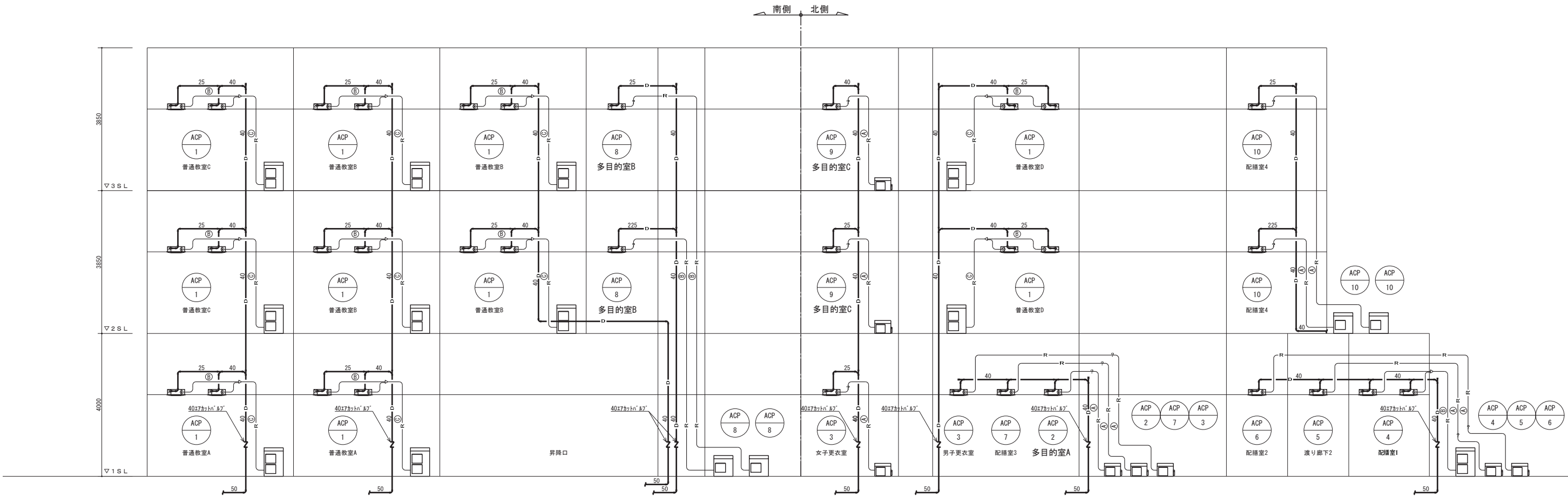
【共通事項】

1. 能力は、J I S 空気条件による。
2. 能力は、定格能力を示す。
3. 電気容量は、参考値とする。
4. 新冷媒は、オゾン層破壊係数 0 とする。
5. 2015 年省エネ基準適法品及び、グリーン購入法関連基準適合品とする。
6. 室内外の張り配線、リモコン配線は本工事とする。
7. 電源配管、配線、リモコン配管、ボックスは電気工事とする。
8. 地上設置の室外機には保護カバー取付（吸込み、吹出し側）とする。
9. ドレンアップ管の常時沸水になる部分は保温を施すこと

記号	機 器 名	仕 様	電気容量			台数	設置場所	備 考
			φ	V	kW			
ACP 1	空冷ヒートポンプ式	型 式 : 同時ツイン 天井カセット4方向形	3	200	消費電力	2	1階 普通教室A ×2室	リモコン配管配線、渡り配線は本工事とする。
	パッケージエアコン	冷房能力 : 20.0kW 暖房能力 : 22.4kW			冷: 5.33	1	2階 普通教室C	三菱電機: PLZX-ZRMP224HF5相当
	耐震地害仕様	付 属 品: 化粧パネル、ワイヤードリモコン、標準フィルター、ドレンアップメカ			暖: 4.96	2	2階 普通教室B ×2室	
		防振ゴム、基礎ブロック、制剛用アダプター、転倒防止金具				1	2階 普通教室D	
		その他付属品一式				1	3階 普通教室C	
						2	3階 普通教室B ×2室	
						1	3階 普通教室D	
ACP 2	空冷ヒートポンプ式	型 式 : シングル 天井カセット4方向形	3	200	消費電力	1	1階 多目的室A	リモコン配管配線、渡り配線は本工事とする。
	パッケージエアコン	冷房能力 : 3.6kW 暖房能力 : 4.0kW			冷: 0.615			三菱電機: PLZX-ZRMP40HF5相当
	耐震地害仕様	付 属 品: 化粧パネル、ワイヤードリモコン、標準フィルター、ドレンアップメカ			暖: 0.705			
		防振ゴム、基礎ブロック、制剛用アダプター、転倒防止金具						
		その他付属品一式						
ACP 3	空冷ヒートポンプ式	型 式 : シングル 天井カセット2方向形	3	200	消費電力	1	1階 女子更衣室	リモコン配管配線、渡り配線は本工事とする。
	パッケージエアコン	冷房能力 : 4.5kW 暖房能力 : 5.0kW			冷: 1.01	1	1階 男子更衣室	三菱電機: PLZX-ZRMP50L5相当
	耐震地害仕様	付 属 品: 化粧パネル、ワイヤードリモコン、標準フィルター、ドレンアップメカ			暖: 1.49			
		防振ゴム、基礎ブロック、制剛用アダプター、転倒防止金具						
		その他付属品一式						
ACP 4	空冷ヒートポンプ式	型 式 : 同時ツイン 天井カセット4方向形	3	200	消費電力	1	1階 配膳室1	リモコン配管配線、渡り配線は本工事とする。
	パッケージエアコン	冷房能力 : 7.1kW 暖房能力 : 8.0kW			冷: 1.68			三菱電機: PLZX-ZRMP80HF5相当
	耐震地害仕様	付 属 品: 化粧パネル、ワイヤードリモコン、標準フィルター、ドレンアップメカ			暖: 1.76			
		防振ゴム、基礎ブロック、制剛用アダプター、転倒防止金具						
		その他付属品一式						
ACP 5	空冷ヒートポンプ式	型 式 : シングル 天井カセット2方向形	3	200	消費電力	1	1階 渡り廊下2	リモコン配管配線、渡り配線は本工事とする。
	パッケージエアコン	冷房能力 : 4.0kW 暖房能力 : 4.0kW			冷: 0.935			三菱電機: PLZX-ZRMP45L5相当
	耐震地害仕様	付 属 品: 化粧パネル、ワイヤードリモコン、標準フィルター、ドレンアップメカ			暖: 1.35			
		防振ゴム、基礎ブロック、制剛用アダプター、転倒防止金具						
		その他付属品一式						
ACP 6	空冷ヒートポンプ式	型 式 : シングル 天井カセット4方向形	3	200	消費電力	1	1階 配膳室2	リモコン配管配線、渡り配線は本工事とする。
	パッケージエアコン	冷房能力 : 3.6kW 暖房能力 : 4.0kW			冷: 0.615			三菱電機: PLZX-ZRMP40HF5相当
	耐震地害仕様	付 属 品: 化粧パネル、ワイヤードリモコン、標準フィルター、ドレンアップメカ			暖: 0.705			
		防振ゴム、基礎ブロック、制剛用アダプター、転倒防止金具						
		その他付属品一式						
ACP 7	空冷ヒートポンプ式	型 式 : シングル 天井カセット4方向形	3	200	消費電力	1	1階 配膳室3	リモコン配管配線、渡り配線は本工事とする。
	パッケージエアコン	冷房能力 : 4.5kW 暖房能力 : 5.0kW			冷: 0.875			三菱電機: PLZX-ZRMP50HF5相当
	耐震地害仕様	付 属 品: 化粧パネル、ワイヤードリモコン、標準フィルター、ドレンアップメカ			暖: 0.968			
		防振ゴム、基礎ブロック、制剛用アダプター、転倒防止金具						
		その他付属品一式						

[illegible]

機 器 表								
記号	機 器 名	仕 様	電気容量			台数	設置場所	備 考
			φ	V	kW			
HEU 1	全熱交換型換気扇	型 式 : 天井埋込形 D Cマイコンタイプ C o 2センサー付	1	1 0 0	4 4 5 W	4	1階 普通教室A ×2室	リモコン配線は本工事とする。
		能 力 : 2 0 0 φ × 5 5 0 m l / h × 1 5 0 P a (強ノッチ)				2	2階 普通教室C	三菱電機: L G H - N 6 5 R X W 2 相当
		付 属 品: 標準フィルター、リモコン、防振吊金具、その他付属品一式				4	2階 普通教室B ×2室	
						2	2階 普通教室D	
						2	3階 普通教室C	
HEU 2	全熱交換型換気扇	型 式 : 天井カセット形 マイコンタイプ C o 2センサー付	1	1 0 0	8 0 W	1	1階 多目的室A	リモコン配線は本工事とする。
		能 力 : 1 0 0 φ × 1 0 0 m l / h × 8 0 P a (強ノッチ)						三菱電機: L G H - N 1 5 C X 3 相当
		付 属 品: 標準フィルター、リモコン、標準パネル、防振吊金具、その他付属品一式						
HEU 3	全熱交換型換気扇	型 式 : 天井カセット形 マイコンタイプ C o 2センサー付	1	1 0 0	1 2 8 W	1	1階 女子更衣室	リモコン配線は本工事とする。
		能 力 : 1 5 0 φ × 2 0 0 m l / h × 8 0 P a (強ノッチ)				1	1階 男子更衣室	三菱電機: L G H - N 2 5 C X 3 相当
		付 属 品: 標準フィルター、リモコン、標準パネル、防振吊金具、その他付属品一式						
HEU 4	全熱交換型換気扇	型 式 : 天井埋込形 D Cマイコンタイプ C o 2センサー付	1	1 0 0	5 0 0 W	2	1階 配膳室1	リモコン配線は本工事とする。
		能 力 : 2 0 0 φ × 5 0 0 m l / h × 1 5 0 P a (強ノッチ)						三菱電機: L G H - N 6 5 R X W 2 相当
		付 属 品: 標準フィルター、リモコン、防振吊金具、その他付属品一式						
HEU 5	全熱交換型換気扇	型 式 : 天井カセット形 マイコンタイプ C o 2センサー付	1	1 0 0	1 8 5 W	1	2階 多目的室B	リモコン配線は本工事とする。
		能 力 : 1 5 0 φ × 2 6 0 m l / h × 1 0 0 P a (強ノッチ)				1	2階 多目的室C	三菱電機: L G H - N 3 5 C X 3 相当
		付 属 品: 標準フィルター、リモコン、標準パネル、防振吊金具、その他付属品一式				1	3階 多目的室B	
						1	3階 多目的室C	
HEU 5	全熱交換型換気扇	型 式 : 天井カセット形 マイコンタイプ C o 2センサー付	1	1 0 0	1 8 5 W	1	1階 渡り廊下2	リモコン配線は本工事とする。
		能 力 : 1 5 0 φ × 2 6 0 m l / h × 1 0 0 P a (強ノッチ)						三菱電機: L G H - N 3 5 C X 3 相当
		付 属 品: 標準フィルター、リモコン、標準パネル、防振吊金具、その他付属品一式						
CC 2	集中リモコン	型 式 : タッチパネル式 H E 用	1	1 0 0		1	既存棟1階 職員室	
		起動/停止、運転モード切替、温度設定、スケジュール運転						
FE 1	排気ファン	型 式 : 消音形ストレートシロッコファン (天吊形)	1	1 0 0	1 1 0 W	1	1階 男子トイレ	三菱電機: B F S - 9 0 S U G 2 相当
		# 1 ・ 1 / 2 × 7 0 0 m 2 / h × 2 5 0 P a				1	2階 男子トイレ	
		付 属 品: 防振吊金具、その他付属品一式				1	3階 男子トイレ	
FE 2	排気ファン	型 式 : 消音形ストレートシロッコファン (天吊形)	1	1 0 0	1 6 0 W	1	1階 女子トイレ	三菱電機: B F S - 1 0 0 S U G 2 相当
		# 1 ・ 1 / 2 × 8 5 0 m 2 / h × 2 5 0 P a				1	2階 女子トイレ	
		付 属 品: 防振吊金具、その他付属品一式				1	3階 女子トイレ	
FD 1	排気ファン	型 式 : 天井埋込型換気扇 プラスチックグリル	1	1 0 0	2 3 . 5 W	1	1階 配膳室2	三菱電機: V D - 1 7 Z S C 1 4 相当
		1 5 0 φ × 1 5 0 m 2 / h × 4 0 P a				1	1階 多目的トイレ	
						1	2階 多目的トイレ	
						1	3階 多目的トイレ	
FD 2	排気ファン	型 式 : 天井埋込型換気扇 プラスチックグリル	1	1 0 0	4 9 . 0 W	1	1階 倉庫	三菱電機: V D - 2 0 Z C 1 4 相当
		1 5 0 φ × 2 5 0 m 2 / h × 5 0 P a				1	1階 配膳室3	
						1	2階 配膳室4	
						1	3階 配膳室4	
< 共通事項 >		1.  はシックハウス対応 (24時間換気用) を示す。						
		2. 全熱交換器の交換効率定格風量で58.0%以上とする。						
		3. 全熱交換器の許容騒音レベルは40dB以内とする。						

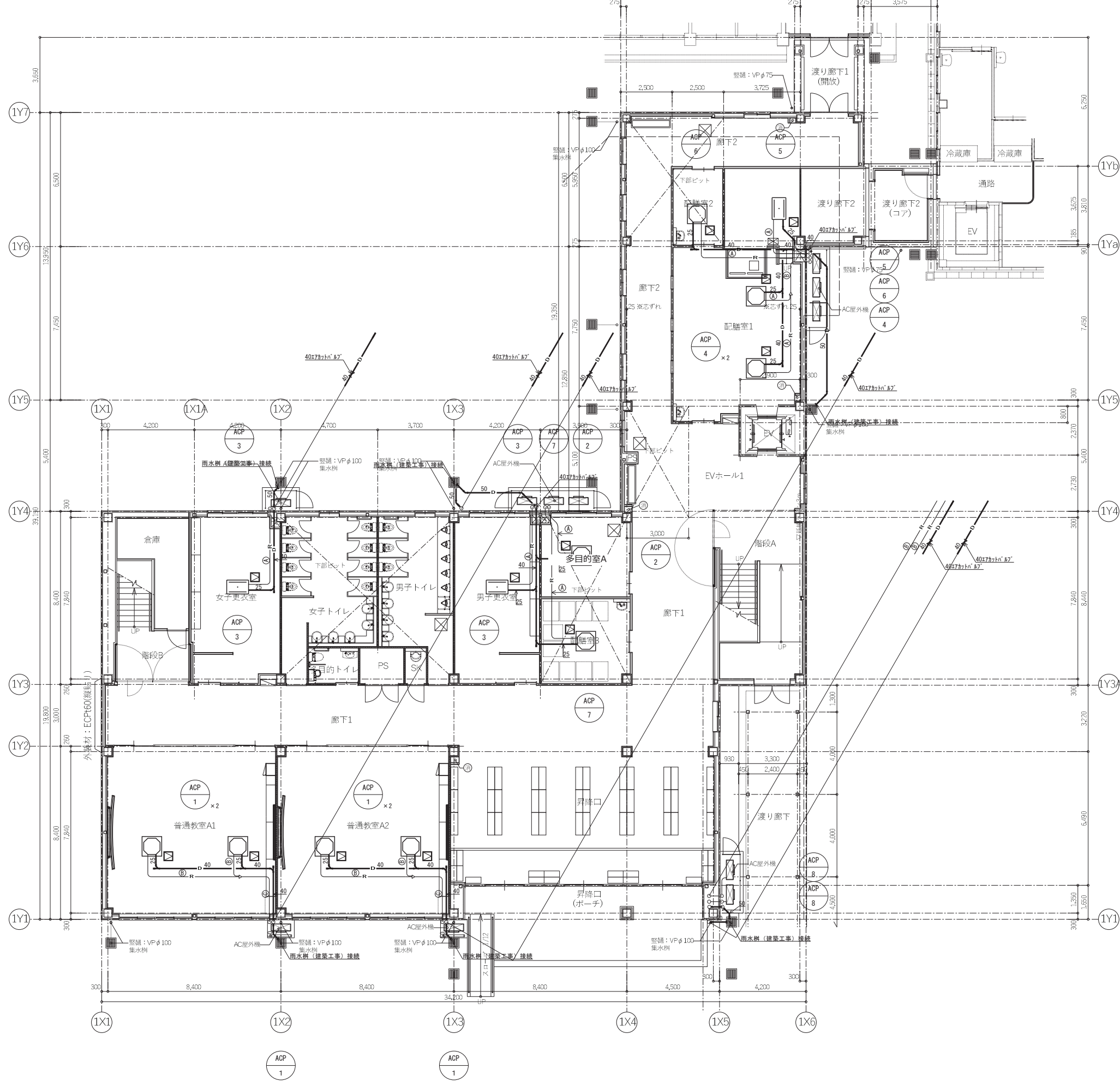


空調設備 系統図

冷媒管サイズ (参考)		
	液管	ガス管
Ⓐ	6.35φ	12.7φ
Ⓑ		15.88φ
Ⓒ	9.52φ	25.4φ

※渡り配線は冷媒管共巻きとする。(本工事)
(EM-GES2.0C-3C)

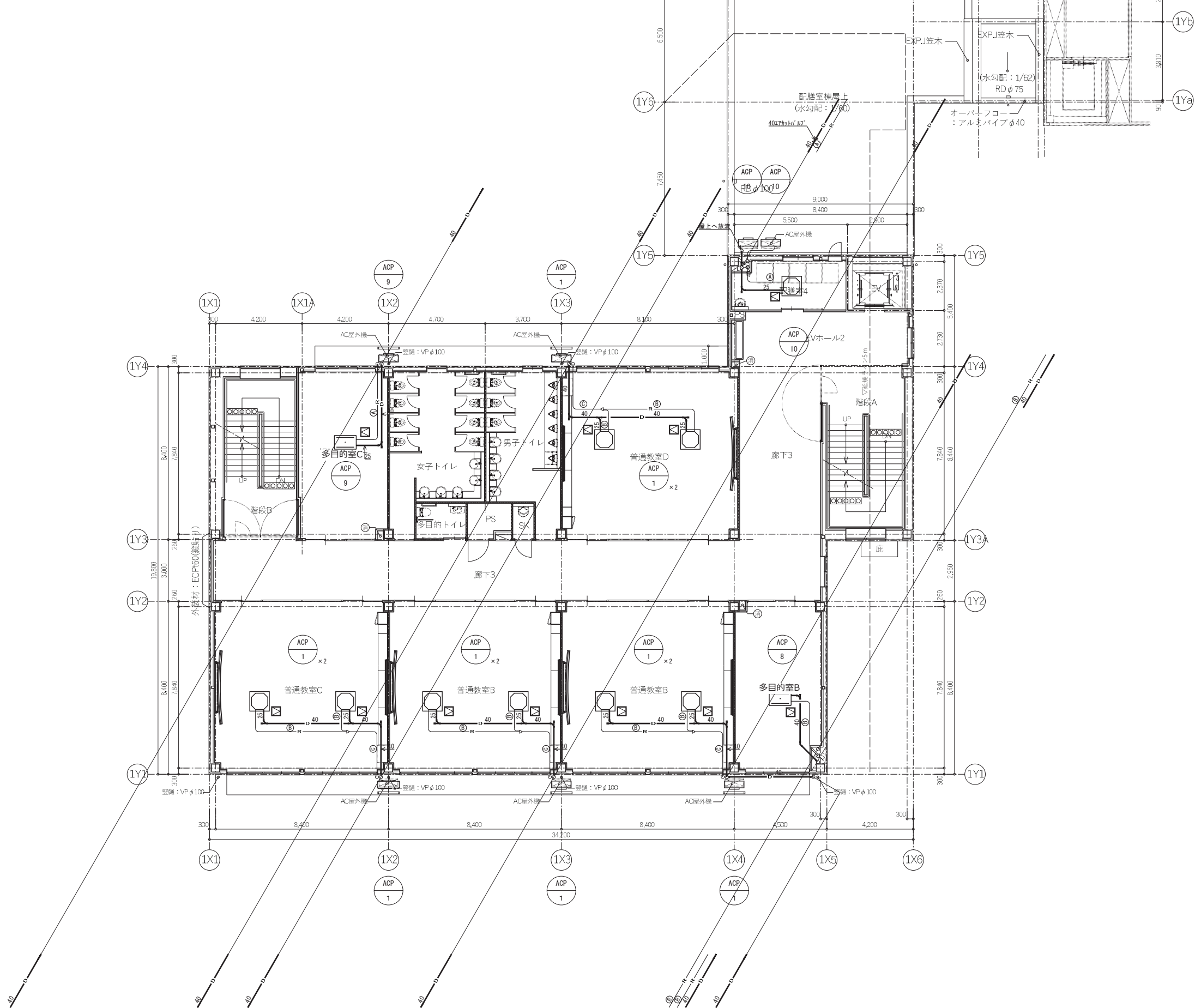
注記) 1. 屋外露出配管は樹脂製化粧カバー仕上とする。



冷媒管径リスト (参考)		
	液管	ガス管
Ⓐ	6.35φ	12.7φ
Ⓑ	9.52φ	15.88φ
Ⓒ		25.4φ

※渡り配線は冷媒管共巻きとする。(本工事)
(EM-GES2.0CJ-3C)

注記) 1. 屋外露出配管は樹脂製化粧カバー仕上とする。

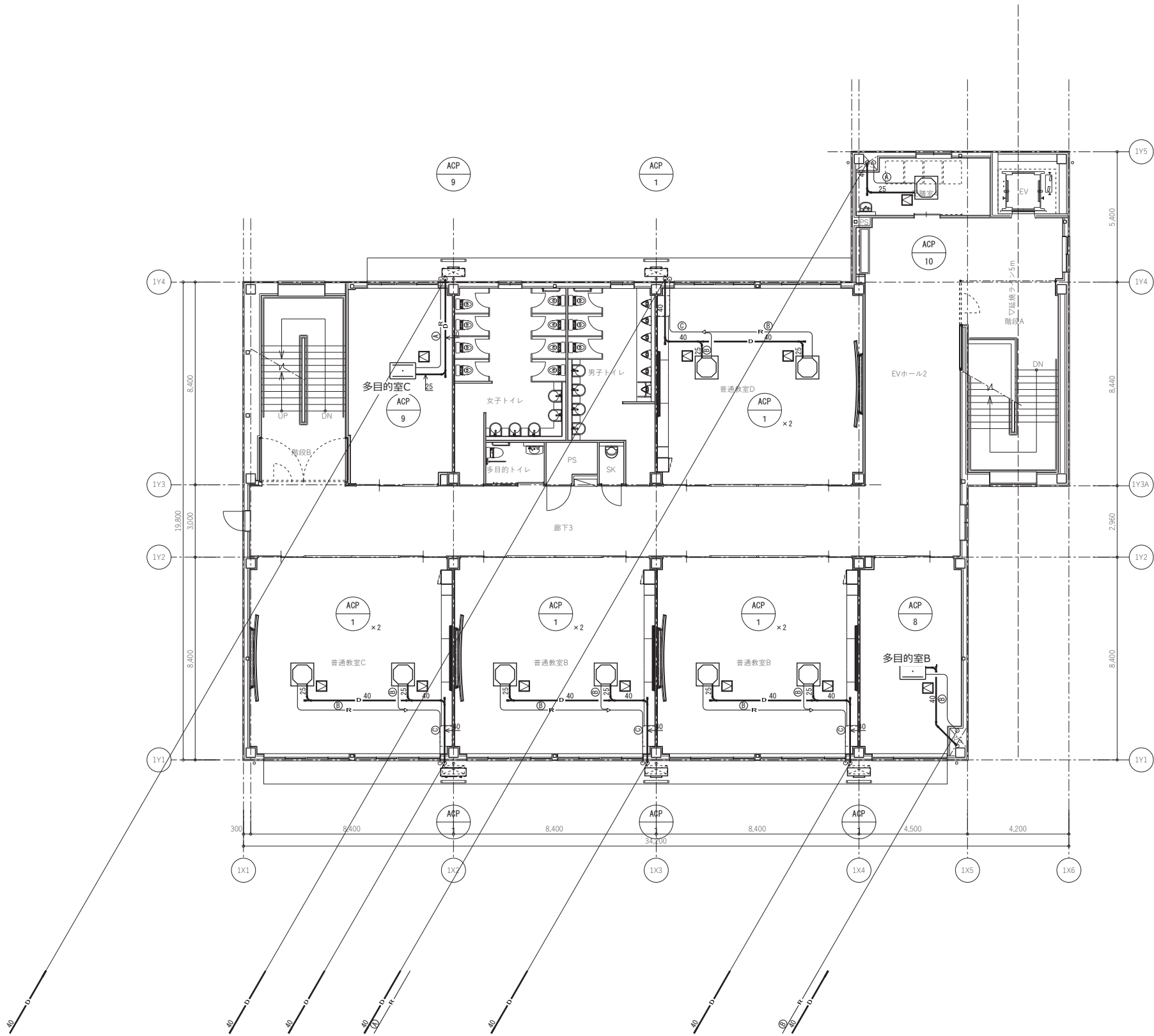


冷媒管サイズ リスト (参考)		
	液管	ガス管
Ⓐ	6.35φ	12.7φ
Ⓑ		15.88φ
Ⓒ	9.52φ	25.4φ

※渡り配線は冷媒管共巻きとする。(本工事)
(EM-GES2.0C-3C)

注記) 1. 屋外露出配管は樹脂製化粧カバー仕上とする。

回 工 房 KAI ARCHITECTS ATELIER	1級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-11451号	管理建築士 1級建築士 大臣登録第55043号 代表取締役 後藤忠義	特記事項		工事名称 津屋崎中学校校舎増築 1 期工事	図面名称 空調設備 2階配管平面図	日付	図面番号 M-18
							縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	

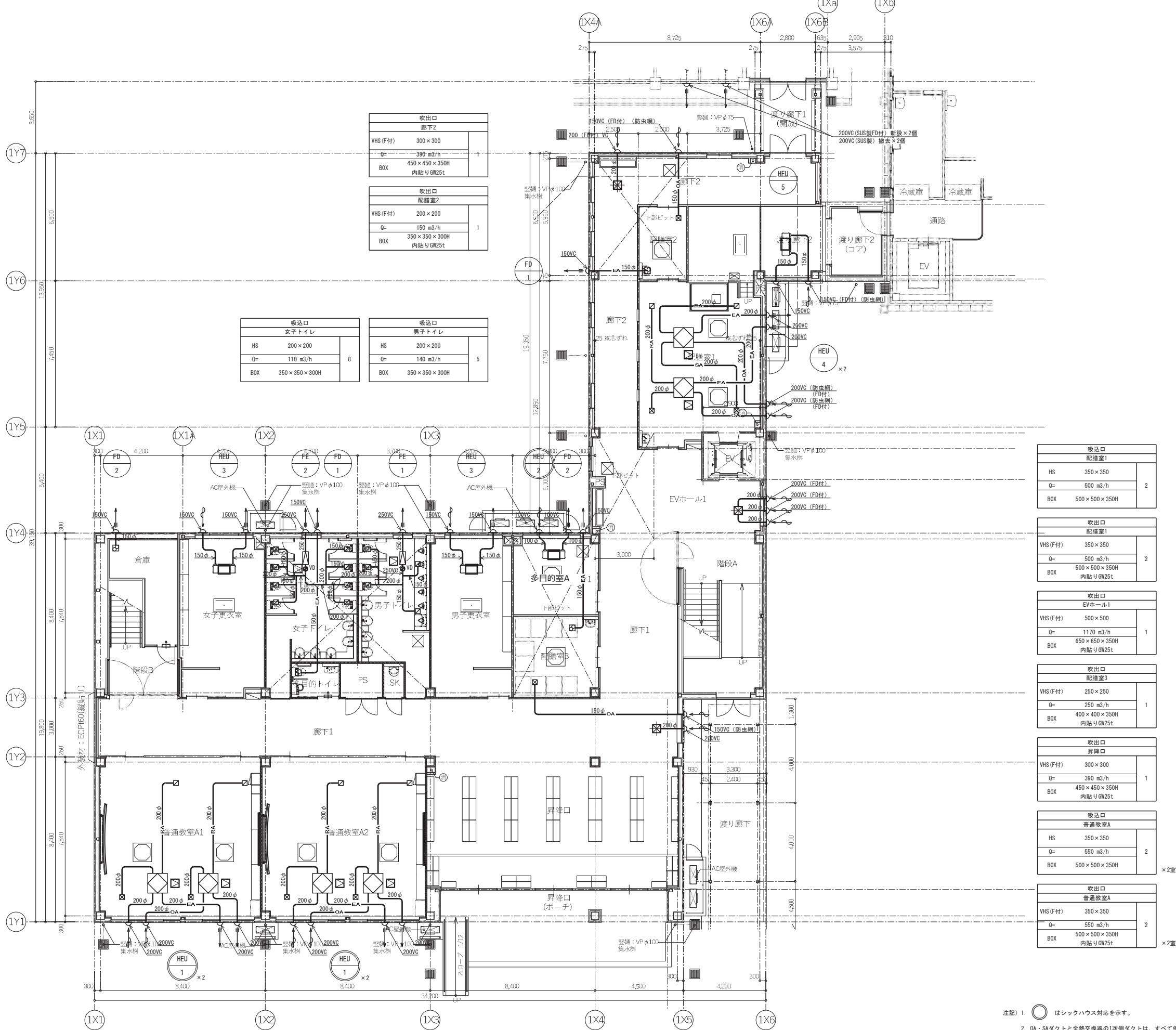


冷媒管サイズリスト (参考)		
	液管	ガス管
①	6.35 φ	12.7 φ
②	9.52 φ	15.88 φ
③		25.4 φ

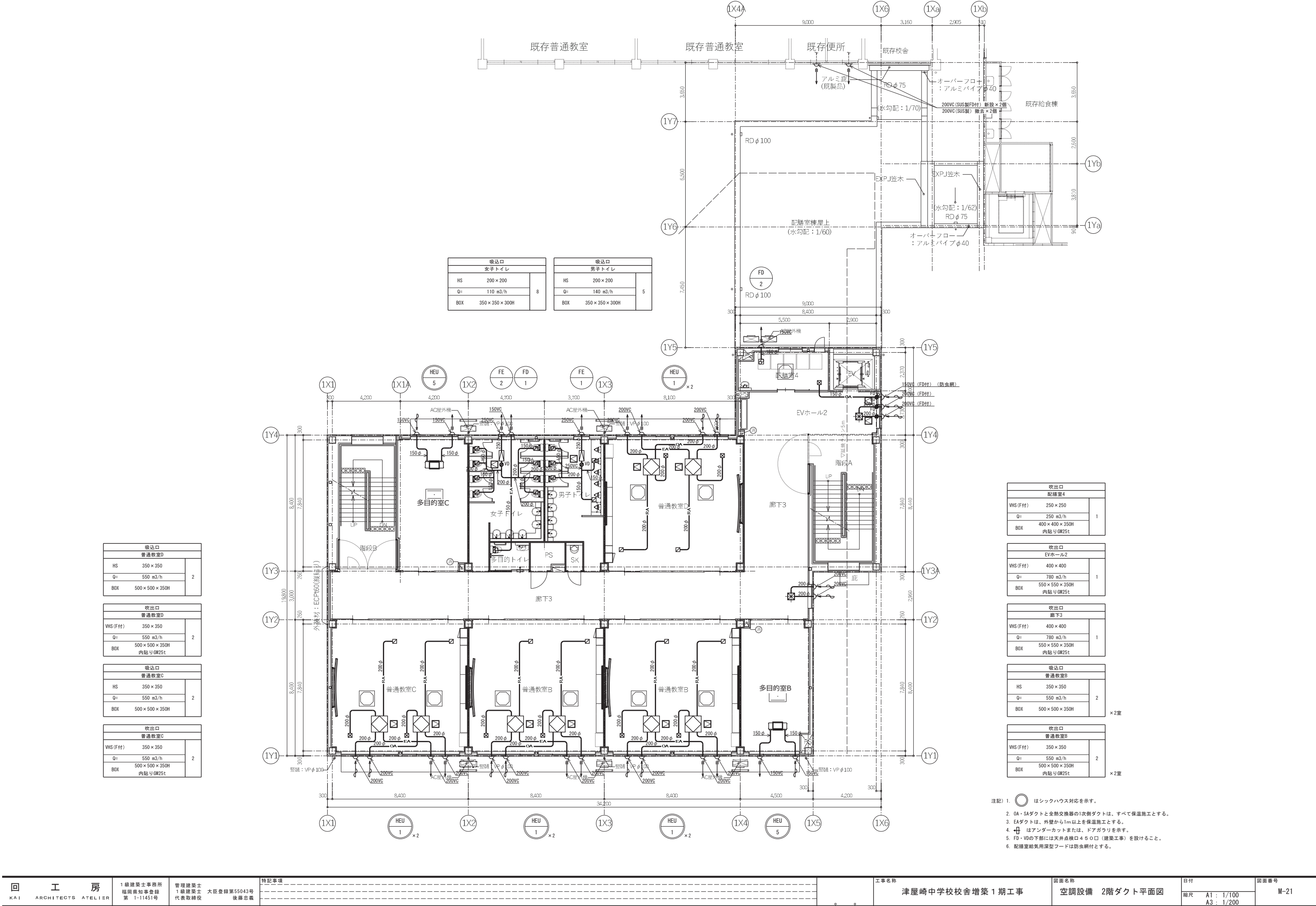
※渡り配線は冷媒管共巻きとする。(本工事)
(EW-CEES2.0口-3C)

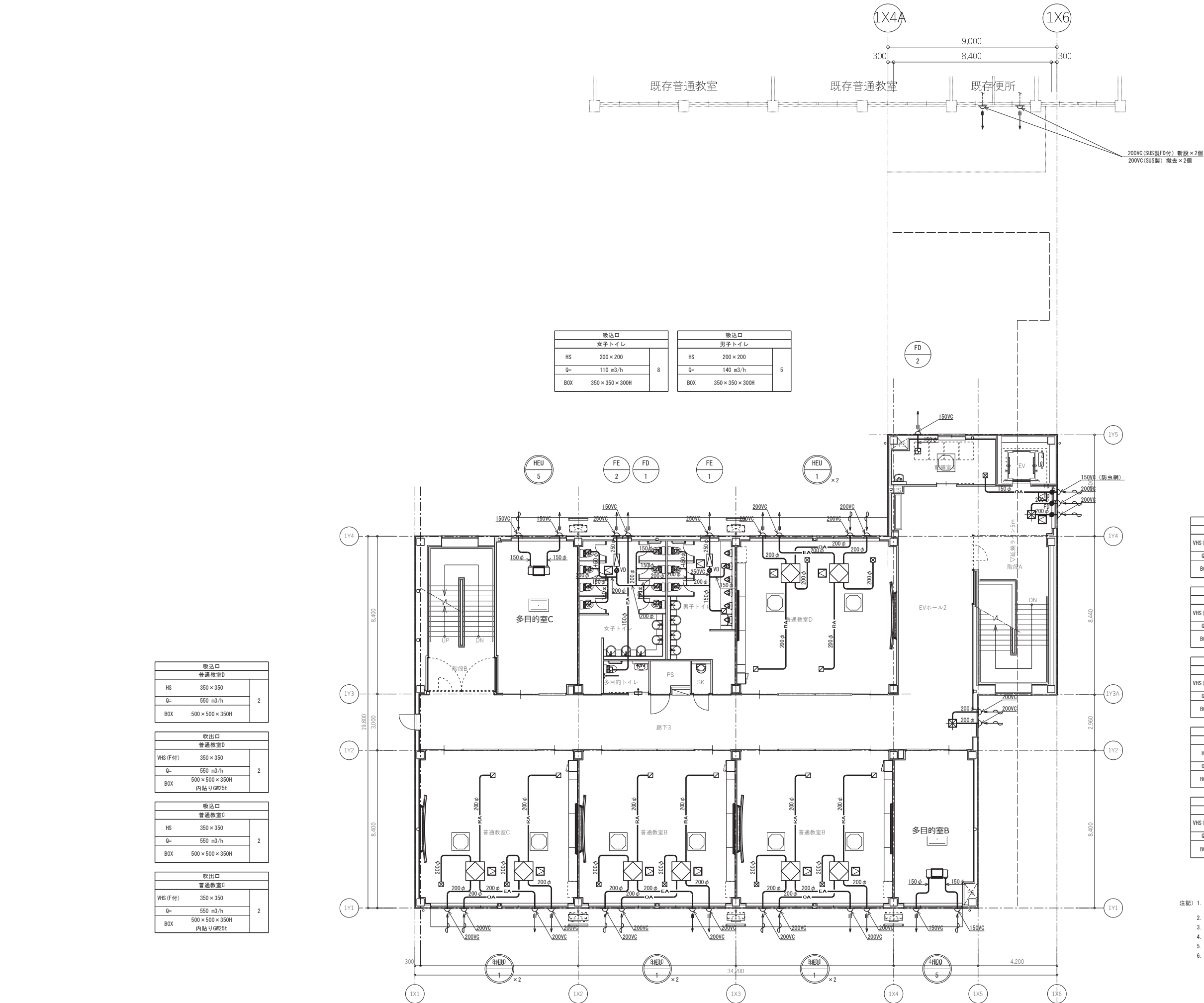
注記) 1. 屋外露出配管は樹脂製化粧カバー仕上げとする。

回 工 房 KAI ARCHITECTS ATELIER	1級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-11451号	管理建築士 1級建築士 代表取締役 大臣登録第55043号 後藤忠義	特記事項		工事名称 津屋崎中学校校舎増築 1 期工事	図面名称 空調設備 3階配管平面図	日付	図面番号 M-19
							縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	



- 注記) 1. はシックハウス対応を示す。
2. OA・SAダクトと全熱交換器の1次側ダクトは、すべて保温施工とする。
3. EAダクトは、外壁から1m以上を保温施工とする。
4. はアンダーカットまたは、ドアガリを示す。
5. FD・VDの下部には天井点検口450口（建築工事）を設けること。
6. 配膳室給気用深型フードは防虫網付とする。





吸込口			
女子トイレ			
HS	200 × 200	8	
Q=	110 m3/h		
BOX	350 × 350 × 300H		

吸込口			
男子トイレ			
HS	200 × 200	5	
Q=	140 m3/h		
BOX	350 × 350 × 300H		

吸込口			
普通教室D			
HS	350 × 350	2	
Q=	550 m3/h		
BOX	500 × 500 × 350H		

吹出口			
普通教室D			
VHS (F付)	350 × 350	2	
Q=	550 m3/h		
BOX	500 × 500 × 350H 内貼りGW25t		

吸込口			
普通教室C			
HS	350 × 350	2	
Q=	550 m3/h		
BOX	500 × 500 × 350H		

吹出口			
普通教室C			
VHS (F付)	350 × 350	2	
Q=	550 m3/h		
BOX	500 × 500 × 350H 内貼りGW25t		

吹出口			
配膳室4			
VHS (F付)	250 × 250	1	
Q=	250 m3/h		
BOX	400 × 400 × 350H 内貼りGW25t		

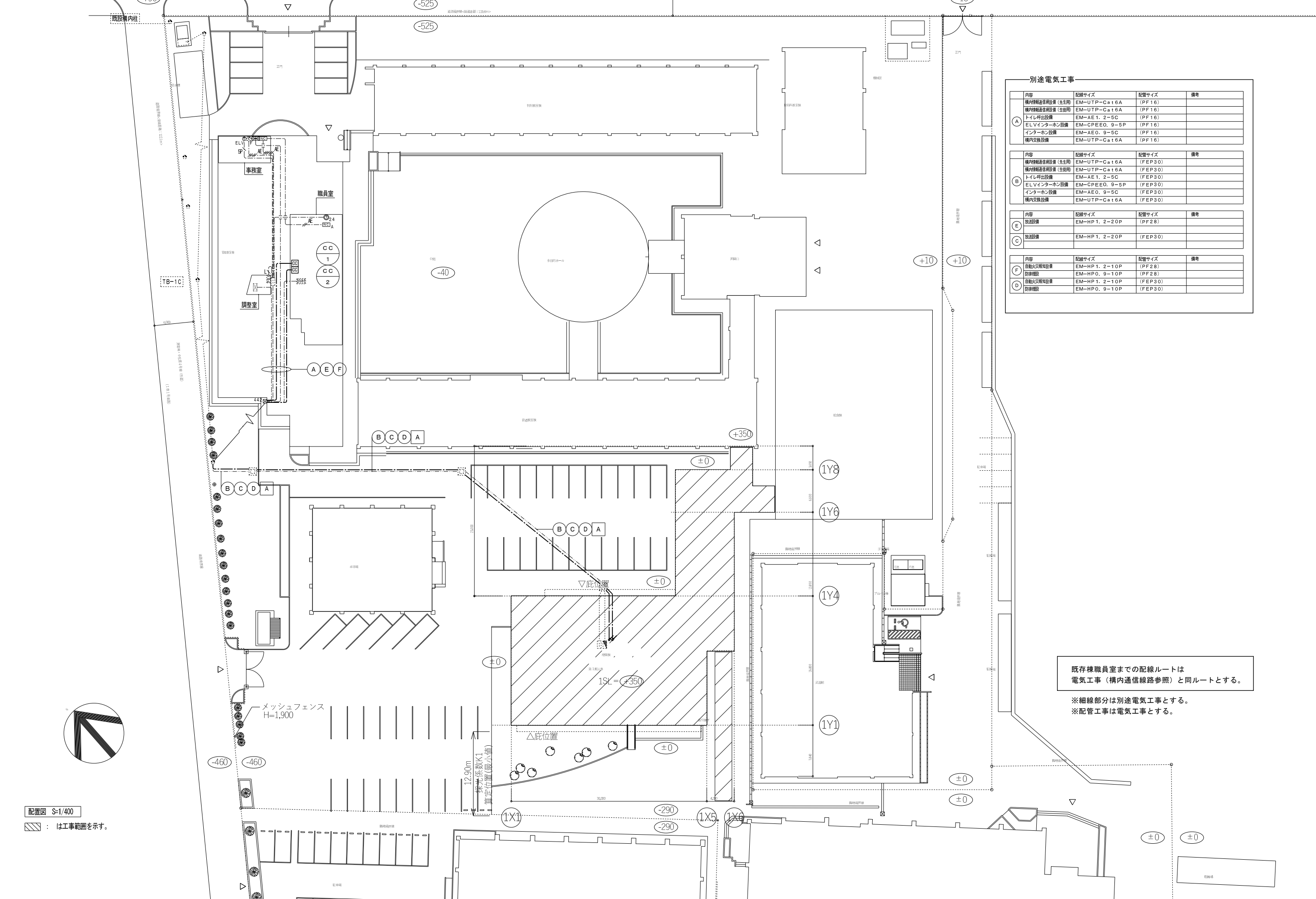
吹出口			
EVホール2			
VHS (F付)	400 × 400	1	
Q=	780 m3/h		
BOX	550 × 550 × 350H 内貼りGW25t		

吹出口			
廊下3			
VHS (F付)	400 × 400	1	
Q=	780 m3/h		
BOX	550 × 550 × 350H 内貼りGW25t		

吸込口			
普通教室B			
HS	350 × 350	2	× 2室
Q=	550 m3/h		
BOX	500 × 500 × 350H		

吹出口			
普通教室B			
VHS (F付)	350 × 350	2	× 2室
Q=	550 m3/h		
BOX	500 × 500 × 350H 内貼りGW25t		

- 注記) 1. はシックハウス対応を示す。
2. OA・SAダクトと全熱交換器の1次側ダクトは、すべて保温施工とする。
3. EAダクトは、外壁から1m以上を保温施工とする。
4. はアンダーカットまたは、ドアグラリを示す。
5. FD・VDの下部には天井点検口450口（建築工事）を設けること。
6. 配膳室給気用深型フードは防虫網付とする。



別途電気工事			
内容	配線サイズ	配管サイズ	備考
A	構内情報通信設備(先共用)	EM-UTP-Cat6A	(PF16)
	構内情報通信設備(生体用)	EM-UTP-Cat6A	(PF16)
	トイレ呼出設備	EM-AE1. 2-5C	(PF16)
	ELVインターホン設備	EM-CPEE0. 9-5P	(PF16)
	インターホン設備	EM-AE0. 9-5C	(PF16)
	構内交換設備	EM-UTP-Cat6A	(PF16)
内容	配線サイズ	配管サイズ	備考
B	構内情報通信設備(先共用)	EM-UTP-Cat6A	(FEP30)
	構内情報通信設備(生体用)	EM-UTP-Cat6A	(FEP30)
	トイレ呼出設備	EM-AE1. 2-5C	(FEP30)
	ELVインターホン設備	EM-CPEE0. 9-5P	(FEP30)
	インターホン設備	EM-AE0. 9-5C	(FEP30)
	構内交換設備	EM-UTP-Cat6A	(FEP30)
内容	配線サイズ	配管サイズ	備考
E	放送設備	EM-HP1. 2-20P	(PF28)
C	放送設備	EM-HP1. 2-20P	(FEP30)
内容	配線サイズ	配管サイズ	備考
F	自動火災検知設備	EM-HP1. 2-10P	(PF28)
D	防煙設備	EM-HP0. 9-10P	(PF28)
	自動火災検知設備	EM-HP1. 2-10P	(FEP30)
	防煙設備	EM-HP0. 9-10P	(FEP30)

既存棟職員室までの配線ルートは
電気工事（構内通信線路参照）と同ルートとする。

※細線部分は別途電気工事とする。
※配管工事は電気工事とする。

